（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）（年中無休刊）

# 京城日報

十三日夕刊
定價 本紙 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

## ◎獨逸講和提議

紐育電報に曰く聯合通信社伯林發無線電信に依れば獨逸及び其の同盟國は聯合國に向つて講和の提議をなせり（東京特電）＝號外再錄＝

### ▲獨逸の對米政府通告

華盛頓來電＝獨逸大使館は米國政府に對し獨逸は波蘭をして獨立せしむるの件を除き總て戰前の狀態に復歸せしむる條件にして講和し巴爾幹問題解決は之を講和會議の討議に附せんと欲する旨通告せり（十二日紐育電報）

### ◎佛國內閣の改造

佛國ブリアン內閣改造中なり（紐育電報）

### ◎對希臘國交斷絕

聯合國と希臘との國交愈々斷絕せり（紐育電報）

### ◎東宮御參陵

東宮殿下には十三日桃山御陵に御參拜相成りたり（大阪特電）

### ◎章公使の陳謝

駐日公使章宗祥氏は十二日本野外相を訪問し特使派遣延引の事情を陳謝せり（東京電報）

### ◎株物價の騰落

株下落し物價益々騰貴す（東京電報）

### ◎商船馬山不寄港

大阪商船會社にては同社汽船の馬山に寄港せしむる時は一日の延航となり且各港に停滯せる貨物運送上にも支障を生ずる事となるを以て矢張り同港には寄港せしめざる意嚮なりと言ふ（大阪特電）

### ◎鮮銀總裁著阪

美濃部鮮銀總裁は十三日大阪著花屋旅館に投宿せり（大阪特電）

### ◎昌德宮午餐會

李王家にては既記の如く十三日午後零時三十分より長谷川總督、山縣政務總監を昌德宮仁政殿に招待午餐會を開けり當日は李王殿下並に兩公殿下も御出席あり軍司令官、參謀長、師團長、總督本府勅任官、所屬官署の長並に主要職員、朝鮮貴族李王職主要職員等八十餘名も陪席せり

### ◎總督總監列席

長谷川總督は高橋武官、齋藤、大島兩副官、神田秘書官、藤波通譯官を隨へ、山縣政務總監は遠藤秘書官等を隨へ十三日正午馬車を驅つて昌德宮午餐會に列席せり

### ◎總督王公訪問

長谷川總督は昌德宮午餐會に臨席の歸途李堈公李埈公兩殿下邸を訪問し更に德壽宮に李太王殿下を訪ひて著任の挨拶を爲せり

### ◎軍司令官招宴

駐剳軍司令官秋山大將の在京城外交團及び大官招待晩餐會は十二日午後七時より軍司令官官邸に於て開會白耳義領事ボールボジャー氏外各國總領事及び領事（米國總領事缺席）並に山縣政務總監立花師團長大屋荒井國分池田宇佐美各部局長官古海中將等主客合計三十八名にして定刻デザートコースに入るや秋山將軍は簡單に佛語にて挨拶をなし之れに次で山縣政務總監並に白耳義領事ボルボジャー氏謝辭を述べ主客交驩十時半頃散會せり

### ◎水越頭取入京

北海道拓殖銀行頭取水越理平氏は十三日午前八時五十分南大門驛著入京したるが同氏は十八日まで滯在各方面に告別挨拶をなしたる上十九日頃出發任地に赴く豫定の由

### ◎工專修學旅行

工業專門學校二年生八名、同校附屬工業傳習所二年生五十名、合計五十八名（內地人生徒三十二名）は更田敎授外五名の敎師に引率され十四日朝京城發往復十一日間の豫定にて福岡山口兩縣下に修學旅行を試み諸工場を見學の事となれり

### ◎松平理事挨拶

十三日朝入京著任せる東拓理事松平直平子は﨑理事同伴同日午前總督府に總督總監以下各部長官局長課長等を訪問著任の挨拶を爲したる後更に諸官衙銀行會社等を訪問せり

### ◎釜屋武官著期

總督府附海軍武官釜屋少將は森海軍將校會議員との間に事務の引繼を了したれば不日東京出發著任の途に就く可く釜山著は十六日頃の旨某所に通知有たり

### ◎金久保少將入京

大邱旅團長金久保少將は十三日春川より入京十四日朝發歸任の筈

### ◎長官部長歸任

上林忠淸南道長官澤田同警務部長は既報の通り九日論山を經て大田に到り同夜同地の官民合同歡迎會に臨み十日成歡迄新總督を見送り松﨑大尉の碑に詣で同地及び稷山金鑛有志の歡迎宴に臨み更に鳥致院に引返し同地の官民合同歡迎會に臨み十一日各官公署學校等を巡視の上十一時發の自動車にて歸任せり（公州）

### ◎今村氏送別會

總督府新聞記者係として多年新聞通信事務に鞅掌し居たる今村事務官は今回全羅南道に轉任の事となれるより總督府出入新聞記者通信員等は十三日午後五時半より同氏を淸香園に招待送別の宴を張れり

### ◎東淸長官令弟

入京中の東淸鐵道長官令弟イヴアンジン氏夫妻は十三日午前八時三十分南大門驛發東京に直行せり

## ◎滯貨善後策困難

### 荷主の自裁に俟つ外無し

### ▲內地行貨物の大激增

朝鮮鐵道にては山陽線の貨物輸送力不足と釜山の滯貨愈々增加して其の荷卸しに大困難を感ずるに至りし爲め十一日より十七日迄全線を通じ下の關以東行き連絡

▼貨物の輸送停止 を斷行するに至りし事は昨報の如く、貨主側各地の荷主にとりては寢耳に水の宣告にて朝鮮穀類內地移出の大障碍たり延ゐて半島財界の大問題となり居れるが何分鐵道局にては十一月より十二月に亙り各港に滯貨山積し船腹不足の聲漸く盛んとなるや其の缺陷を鐵道によつて補ふは此際當然執るべき手段なりとし當業者の希望を容れ群山木浦仁川鎭南浦各港より阪神仕向穀類連絡運賃の二割引を行ひ更に共益社のみに締結しゐたる內地連帶大豆特定割引運賃の範圍を大に擴大せるありさらでだに本年朝鮮產穀の豐饒と穀價の好氣配は內地移出量を例年に比し頗る增加したる爲め之等の事情は相俟つて鐵路釜山に發送せらるゝ內地

▼連帶貨物の洪水 を現出するに至り十二月五日以降七日迄の三日間の如き釜山著車二千三四百噸（大部分下の關以東行）の多量を見たる位なり然かも此の滔々決河の勢ひを以て內地に輸送せらるゝ大量の貨物に對しては山陽線輸送力の關係上止を得ずとは云へ前後の狀態に鑑みて當局は甚大なる苦痛を感じ居るものゝ如し

▲輸送力制限 然らば此の善後策を如何にすべきや十一日より十七日迄鐵道局が、全線連絡貨物の引受けを停止し十八日よりは又今日迄の如く全輸送力を擧げ內地行貨物の滯貨掃蕩に盡し得るやと云ふに事實は此の疑問に良好の回答を與へず乃ち山陽線に於ける鮮鐵連帶貨物の輸送能力一日五百五十噸は當分の間にて其當分は年末年初を通ずるものと見るを至當とし少くも明年二月末に至らざれば同量以上の貨物を積送し能はざるは想察するに難からず爲めに鐵道局は十八日以降當分全線に於て內地行き貨物を僅々十車より引受けずと云ふ此の十車を沿線に山積せる內地連帶の滯貨に比する時は實に大旱の微雨に過ぎざれども鐵道局は斯く輸送の大制限を行ひなひ釜山の堆貨をも徐々整理し行かんとするものゝ如し

### ▲結局は荷主の傭船

今後の鐵道連帶輸送力上述の如しとすれば如何にして釜山埠頭に集積する下の關以東行き貨物を處分するか鐵道某當局の意見を叩くに此の窮狀を救ふ策は（一）鐵道局若くば鐵道院にて船舶を傭船し釜山より阪神へ滯貨を直接輸送するか（二）荷主にて汽船をチャーターし疏通の途を講ずるか二途の外策なし然も第一案は到底確定せられし官廳の豫算にては實行の方法を得難く又荷主に對する傭船料の若干額補助も會計法上許されず、結局荷主に於て釜山より

▼汽船を阪神に 仕立つる外執るべき道なく此の方途に出でざれば下の關以東行きの穀類は明春迄其の捗々しき荷捌けを絕對に見難く此際傭船料高下の如きは問題に非ざるべしと云々とあり乃ち各地荷主は鐵道連帶輸送力の今後に大なる期待をなさず適宜傭船の方法を執るを可とすべし

### ◎貨物專用船增加

年末に切迫せるに從ひ決濟貨物の增加と沿線各地よりの出穀激增せるに加へ從來海路輸送せる沿岸貨物までが船腹不足と運賃の關係より續々鐵道便に據りて廻著し來るため釜山埠頭に著する貨物は日々夥しく增加し十二日は約五千三四百噸の滯貨を示すに至れり左れば鐵道院は更に御嶽丸を傭船し臨時貨物專用船として停滯貨物の一掃に努めつゝあるも如上の有樣なるを以て先般來今一隻傭船の計畫ある由なりしが今回弘運丸（一千噸）を鐵道院に傭船することに契約成立したるを以て同船は十四日下關に廻航し來りて受檢を終へ十五日より以後關釜間貨物專用船として御嶽丸と共に就航すべしと（釜山）

### ◎鮮銀券發行高週報

十二月三日より九日迄の鮮銀券發行平均高は四千六百五十六萬二千六百四十七圓にして內正貨準備發行平均高は一千六百五十一萬二千六百四十七圓保證準備發行平均高は三千五萬圓に達せり

### ◎總督歡迎打合

金谷京城府尹、西村京城商業會議所副會頭は十三日午前相携へて總督府に官房局長其の他を訪ひ總督歡迎に關する打ち合せを爲せり

### ◎名刺交換會決定

京城府內の官民聯合名刺交換會は愈々來る大正六年一月一日午前十時三十分南大門小學校々庭に於て擧行のことに決定會費を五十錢とし近々京城府より夫々勸誘狀を發する筈なるが成る可く多數の參加を希望する由

### ◎鮮人警部教育會

京畿道警務部にて管內朝鮮人警部全部を十三日より召集し向ふ一週間學術科敎育會を開催すと

### □春川途上より

鯨洋生

早起京城を發す、碧天寸雲、寒風頰を刺す。東大門を出づれば、枯林煙の如く、鳥雀寒田に漁る、淸凉里、忘憂里、金谷を經て、自動車は峻坂を登る。仰げば峰頭は、碧天に沖し、渦々波の如く、全山岩石多きも、又た稚松の鬱茂するを見る。登るに從て、道は愈々急に、益々險也。名を問けば、磨石嶺と云ふ。頂上より顧れば、雲に入るの諸山、崇々として、宛然怒濤に似たり。下瞰すれば、山腹を蜿蜒として、透曲せる道路は帶の如く、而も其の曲折は、五步に十步に、迂迴に隙あらず。蛇の大河を渡るが如し。下り盡せば磨石里の邑あり。進んで更に山嶺を走破し漸く加平に至る。加平は附近屈指の邑にて、內地人々家等も、其處等に散見せり。同處を發して少時道は照陽江の下流新延江に沿ふ。江流淸澄、河底の岩石を透視し、或は淵々たる淺瀨となれば、又は滾々たる深潭となり、時に奔湍岩を嚙む等、千變萬化せる、江畔の眺望は、筆紙に盡し難く、溯るに從つて、眺望倍々雅也。四壁の連山亦、山勢堂々、眞に我函嶺に似たり。左側の巍峩たる絕脈は、例の鐵破嶺、辭職峙也。道路山下を走るを以て、今は辭職の名に反す。

### ◎咸北の白隱元

本秋來淸津港輸移出界を賑はしつゝある白隱元は十一月に於て其絕頂に達し二千七百七十五石價格七萬八千餘圓の輸移出あるが既に與地農家の所藏品少きと今後に於て尙ほ放資せざるに至りし結果昨今著しく相場の昂騰を見越して賣惜み容易に其出廻り減退せり而して本年一月より十一月迄の輸移出は五千三百十五石に達せるが年內には優に六千石に達すべきを豫想なり更に近來白隱元と共に淸津港の輸移出界を賑はしつゝあるは豌豆にして十一月中の輸移出額は青豌豆一千百三十五石白豌豆九百十石計二千四十五石に達せるが相場は白豌豆は一石十八九圓なるも青豌豆は二十八九圓を唱へつゝあるを以て總額五萬餘圓に達せり本品は白隱元より遲く買出しに著手せる故昨今尙ほ盛んに買集め淸津に出廻りつゝあり以上の如く十一月中は白隱元青豌豆の輸移出旺盛なりし爲め淸津港の輸移出貿易は開港以來未曾有の盛況を呈し市況又た少なからず活況を來せり（淸津）

## ◎各協商國の內閣改造中

巴里來電＝戰爭遂行を統一し且迅速ならしめんが爲めに各協商國政府にては內閣改造中なり（紐育電報）

## ◎米船擊沈は誓約破棄

華盛頓來電＝米國國務省はマリナ號擊沈に關する詳細の報告を發表したるが右に依れば獨逸が船舶擊沈に關する誓約を破棄せる事極めて明白なり（紐育電報）

### 平壤

▲向井檢事長送別會 平壤の官民有志二百餘名は十一日午後七時より向井檢事長を大同館に招待し送別の宴を開きたるがさしもに廣き大同館も立錐の餘地なきまでの盛況にて席定るや鳥山法院長の懇懃なる別辭あり次で白井檢事長は立ちて在任十箇年の交誼を謝すと冒頭に今夕の酒は各位の眞情あふれたる心なることを肝膽に銘じ充分に頂戴すべしと常に變らぬ平民的態度にて謝辭を述べ開宴し工藤長官の音頭にて會員全部立ちて乾盃し互に健康を祝し午後十時頃散會せり因に同夜の會員中には南浦黃州安州等の各地よりの出席者も多數ありて平壤ありて以來未曾有の盛會なりし

▲平壤府學務委員會 十二月十二日午後二時より府廳樓上に於て學務委員會を開き左記事項を諮問する由

一、普通學校及び同卒業者に對する一般の感想如何
二、耶蘇敎信徒の普通學校に對する感想如何
三、普通學校の增設又は擴張に對する意見如何

▲平壤府參事會 十二月十一日午後二時平壤府尹は府參事を召集し左記事項を諮問せり

一、現今に於ける一般の民情如何
二、現今各地に於て補助貨の拂底及び貨物の停滯甚しきものあり之が府內の經濟界に及ぼす影響如何

▲白井檢事長招宴 白井檢事長は十日午後七時より在壤中の交誼に酬ゆる爲め平壤に於ける重なる官吏民間有志者を七星館に招待し留別の宴を張れり

▲農業組合總會 平壤農業組合總會は十二月十日午後二時より箕陽倶樂部に開催せられたるが目下拔倉組合長不在に付き大橋幹事長代りて開會の辭を述べ尙大正五年度の報告を爲し工藤平南道長官來賓總代として一場の講演を爲したり當日の來賓長官及び篠田一部長本田府尹三宅技師其他新聞記者等にして折詰瓶酒の饗應あり盛會なりき

### 仁川

▲故志方氏嗣子寄附 曩に物故せし仁川公立商業專修學校講師志方熊喜氏嗣子[illegible]見氏は十三日同校基本金中に十圓を寄附したり

▲廻著米數量 本月一日より十三日迄に於ける米の廻著は鐵道二萬叺船六千叺にして先月同期に比し鐵道五千叺增籾は同期間に於て約十萬俵の入津ありたる模樣なりし

▲宮町聯合大賣出 仁川宮町にては十三日より抽籤付聯合大賣出を開始し町內には萬國旗其他の裝飾を施し仲々の賑ひを呈しつゝあり

### 忠州

▲地主會 郡當局の指導により農事の改良施設に從事せる忠州地主會は十一日忠州郡廳に總會を開き田中庶務主任の有益なる講話ありて沼堤修理に關する件を議決し午後四時散會せり

▲憲兵著任 忠州憲兵分隊に配置された憲兵上等兵六名は十一日來著京城衛戍病院忠州分院にて身體檢査を行ひ職務に就けり

▲煙草代金交付 專賣課忠州出張所にては去る八日より煙草代金拂渡を開始し漢湖農工銀行忠州支店を經て交付中なるが市況は俄かに活氣を呈し歲末の金融經濟界は漸次順潮に趨きつゝあり

### 公州

▲普校の明石屋 燕岐郡公立普通學校に於ては豫て殖林思想養成の爲め明石屋を栽植し居たるが本年に至り十石餘の結實を見るに至り之を長野縣產に比するに聊かの遜色なく道に於ては奬勵の爲め一斗九十錢の割にて買上げる事とせり

▲歲末贈答禁止 忠南道廳に於ては出入商人及び工事請負業者と關係吏員の物品贈答は例年の通り禁止し堅く實行する樣實業組合長に對し示達せり又一般廳員間に於ても同樣なりと

▲鮮人文官合格者 九月本道廳に於て施行されたる朝鮮人判任文官試驗に合格したる者は千張洛李觀熙閔亢根の三名なりと

### 芙江

▲總督歡送迎 十日正午車芙江驛に差蒐らんとするや同地官民有志は歡迎の意を表する爲め霽然たる十一發の花火を打揚げ驛プラットフォームには多數有志整列して熱誠なる送迎をなせり

▲景氣附いた市況 忠北輕鐵敷設問題起りて以來分岐點として認めらるゝに至り非常の活況を呈し來り既に各地資本家は同地將來の繁榮を見越して昨今頻りに土地買收を行ひつゝあるため市街地價の騰貴を見るに至れり

### 木浦

▲繰綿開始 當地三棉業會社は荷造用壓搾器設備の爲め作業見合中なりしが工場の關係上木浦棉業は七日天平棉業は九日より繰綿を開始せり因に朝鮮棉業は尙ほ一兩日遲延すべきと

▲米穀輸移出高 本月に入り一昨十日迄當港より輸移出したるは船腹の都合にて僅かに玄米三千七百十六叺中白三百叺白米四千六百叺粉米二百五十叺以上阪神行白米八百二十叺（大連行）合計九千五百八十六叺なりと

▲銀行營業成績 當地朝鮮十八農工三銀行の客月中の營業成績を聞くに預金預り高二百四十五萬五千五百四十四圓拂戾高二百六十三萬二千六百二十[illegible]の增加手形仕向高七十六萬一千七百四十三圓被仕向高八十四萬三千四十六圓にして昨年の同期に比し仕向高七萬七千三百五十二圓被仕向高三十八萬七千四百六十七圓の何れも增加なりと

▲生牛帆船輸送 當地より移出の生牛は主として朝郵平安丸の積取りなりしが同船は當港大阪間の米穀輸送に從事することゝなりし爲め今後は帆船にて輸送する外なく本月に入りて既に二百廿三頭を移出せり

### 麗水

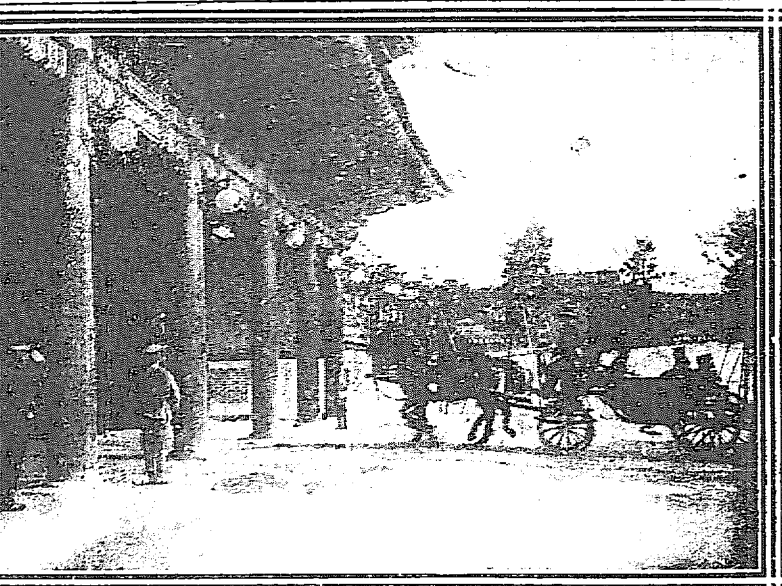
▲棉花出廻り 棉花の出廻り旺盛を極め出棉斤數既に六十餘萬斤に達し今後の出棉豫想斤數三十四五萬斤にして價格は一等棉金十八錢六厘九毛の由

▲漁業の近況 山神組及び水產會社に屬する漁船約二百隻にして一箇年の水揚高五十六萬圓位にして當地の商況は漁業の如何に依つて決せらるゝが如し

### 人事消息

▲新橋榮次郎氏（滿鐵囑託） 十三日入京浦尾へ
▲オーステン氏夫妻（天津駐剳米國陸軍中將） 同上朝鮮ホテルへ
▲エマーソン氏（雲山金鑛員） 同上
▲河野通久郎氏（原商會莫斯科支店長） 十三日朝退京
▲堀井儀作氏（鐵道局參事補） 十二日夜退京
▲坂出鳴海氏（總督府技師） 築港狀況視察の爲め十二日元山に出張
▲野口動一氏（土木局元山出張所長） 道路竣成及び茂山線直營工事場巡視並に鏡城慶源間貸車の爲め咸北に出張中の處此程歸任
▲渡邊鷹吉氏（山林技師） 林野監理調査狀況視察の爲め十日忠南へ出張
▲山岡元一氏（土木技師） 滿鐵事業視察の爲め此程全北へ出張
▲芳賀鐵道院副參事 十二日朝來鮮釜山一泊の上十三日朝入京
▲白井水城氏（辯護士） 訴訟用の爲め十二日平壤へ赴き十三日歸る

長谷川總督昌德宮午餐會に臨む



# 南國の珍花を飾りて

▽昌德宮の仁政殿にて午餐會
─卓上に匂ふ蘭科植物と白梅の花
▽李王殿下と長谷川總督の歡談

李王殿下の新任長谷川總督を御招待相成る午餐會は十三日午後零時三十分より昌德宮仁政殿にて開催せられた、此の日陪賓には李埈公殿下李堈公殿下の外

◇山縣政務總監を始め總督府各部長官局長並びに高等法院、覆審法院、總督府醫院、中央試驗所等の所屬官、勅任官以上列席し又秋山軍司令官、立花第十九師團長及びその幕僚を始め古海警務總長其警務官等の招待あり

◇朝鮮貴族側には李海昇侯、李載完侯、李址鎔伯を始めこれに李王職々員の列席にて總員九十二名の盛宴であつた、此の日長谷川總督は高橋武官、齋藤、大島兩副官と共に馬車を驅つて正午昌德宮仁政殿に入り先づ宣政殿にて李王殿下に御對顔申し上げたるが殿內丹碧の色麗はしき壁間には

◇刺繡の花鳥を描きたる衝立の數々に老美松の風致ある盆栽を置き陸軍大將の軍服を召されたる李王殿下の傍らにはこれも陸軍中將の御正服なる李埈公、李堈公兩殿下の挨拶せらるゝあり各殿下とも總督に對し種々打ち解けし歡談を試みられた、かくてまた李王殿下には仁政殿廻廊に沿ひたる

◇東行閣の內に於て 陪賓一同に對し謁見あり後ち午後零時三十分といふに仁政殿大廣間に於て午餐會の食堂を開かれたるが席は正面眼覺むるばかりの大鳳凰の額を後ろにして李王殿下著席せられ猶ほ

◇長谷川總督は主賓 としてその正面の椅子により他に李埈公李堈公兩殿下並に山縣政務總監秋山軍司令官は其左右に居並び李王職音樂隊の奏樂の音に數々の珍品佳肴を運ばれ卓上の珍花の芳香と白梅、棕梠竹の盆栽など何れも燦然たる仁政殿の壁間に映ろい眼もあやなる美觀であつた猶ほ

◇奏樂の主なるものにはプロシの凱旋曲、トマツのライモンド序曲、カルメンの圓舞曲、ボ六段箏曲、歌曲アンゴット夫人、ボルカマツルカ曲、露帝生活等あり、獻立には典膳職より調進せし數々の

◇美酒佳肴を薦められたるが宴は午後二時といふに終了後ち休憩室東行閣にて再び總督李王殿下の歡談が試みられた、猶ほ李王殿下と秋山將軍とはキューを執つて撞球を爭はれたるが五十のゲームに

◇秋山大將の敗と成 たるも興多きとであつた、猶ほ此の日の來賓一同には特に食卓記念品として古代周の樣式による銀製の香爐を贈られたのであつた、總督は歸途獺の襟の外套を著て馬車を驅りつつ德壽宮を始め李堈公李埈公殿下の邸をも訪問せられたのであつた

# 棧橋で米と籾の合戰

仁川海岸の大混雜─其筋の取締勵行

仁川海岸通りの斗量場棧橋附近は昨今籾の荷揚げで湧き返る樣な雜踏をしてゐる警察署では道路の取締上此の無秩序にして亂雜極まる荷揚及び車馬の通行及び物貨等の彷徨を整理し

▲交通上の保安を計らんとしてゐる、斗量場として目下使用して居る處は銀行倉庫前の道路を數百間の間片側三間と學校組合管理の船溜前の空地とであるが昨今の樣に米の廻著籾の入津が猛烈で一方は捌け口が無い場合は滯貨が益々增大して倉庫は滿腹になり斗量場は露天積みで寸尺の餘地も無くなる其處で折角入津した籾は道路に溢れると言ふ具合で此れを運ぶ人夫馬車肩摩轂擊して普通人は危險で歩かれないもし此のまゝ放任したならば警察では

▲通行路は杜塞 されて市民の苦痛迷惑は一方ならぬのであるから警察署の取締りは最も嚴重にせねばならぬのであるがさて取締勵行となつても揚荷の收容地が無い以上依然として船溜附近は地勢上押別なない程雜踏を續けるのは當然で警察署でも聊か持餘し氣味である然し十三日は警官數名が同所に出張して貸地に檢分した上穀物協會に赴いて種々と道路整理上の事に就て當業者の意見も徵した上正午から巡査部長以下多數の警官は直ちに斗量場の

▲各要所に立て 警を嗅らして取締つて居るが其結果さしもに無秩序にして混亂して居た道路もやゝ整理されて道路上に山積した俵の山も漸次埋立地の方に移されて居る樣である（仁川）

# 橫領米で豪遊

去る七日午後十一時頃釜山綠町一丁目金榮樓に年頃二十七許りの漁夫體の男が同樓抱へ娼妓を揚げて散財し更に翌八日午前十一時迄流連して勘定を立派に支拂ひ又も二十一圓餘を散財したるが此度は懷中に鐚一文もない處より仲居が付馬となり男の住家といふ牧島渡場入口朝鮮家に赴きしに男は白米五俵を持ち來り此を賣つて金にしてやるといふより草梁町二丁目中川米穀店まで同行し男は其を卅五圓五十錢に賣り其處にて仲居に該金を渡したるより仲居は遊興費廿一圓餘を差引き餘りの十四圓三十九錢は仲居が預り連れ立つて金榮樓に歸り男は更に同樓に登樓し遊興中を九日の夜釜山署の樋口刑事が怪しみ引致取調べると男は方魚津通ひ帆前船田丸漁夫加藤松次郎なる者にて同人は釜山南濱浦上商店より廻漕を依託されたる白米を橫領し件の遊興費に當てしと判明し目下取調中（釜山）

# 公金二千六百圓燒失

十二日午前二時頃慶北迎日郡滄州面事務所より出火し建物を全燒したる外書類金庫及公金二千六百餘圓をも悉く燒失したりと原因損害取調べ中なるが人畜には死傷なかりしと

◎潜伏中捕はる 龍山青葉町……り預りゐたる印材四百個(二十圓)を鍾路二丁目の某鮮人非賣所に一圓五……

一等（六名）服部鎭二郎、市橋つる、丹羽清次郎、村瀨清二郎、高橋清助、外人三名
二等（二十三名）水上布雄、岡忠雄、同ゆき、……
一等（六名）水越理庸、大澤享、古川享之助、……
渡邊汀、芳賀彌吉、米人一……

# 富田屋八千代花嫁となる

大阪の名妓として知られたる富田屋八千代は十三日愈々廢業し菅楯彦畫伯の花嫁として輿入れする事に決せり（大阪特電）

# 桂川に投身す

京都市役所の書記伴俊夫(三〇)は桂川下流に投身自殺を遂げたり（大阪特電）

# 小刀で自殺す

十二日午前十時半頃龍山練兵場東北隅の丘上に縊死者あるを發見して屆出でたるものあり龍山憲兵分隊より憲兵出張檢視せしが變死者は推定年齡六十歳位氏名本籍不詳の朝鮮人男にして著衣風采等賤しからず鋭利なる小刀を以て前頸部を長さ約二寸許り搔き斬り俯伏して絕命し居れり多分前夜自殺を遂げしものならんと遺留品として現金七錢及び金本盞と彫刻したる認印一個在中の財布あるのみなるが屍體は行旅病者として京城府へ引渡せり

# 賊內房を襲ふ

全北鎭安郡白雲面白岩里の居住尹相龍方に數日前の夜一名の男が覆面を頭部より被り面體を覆ひ尹相龍夫婦の內房に忍び込み主人を叩き起し金五百圓を提供せざれば殺害すべしと脅迫したるが主人が直ちに蹴ね起き樣屋外に飛び出し此旨廻り合せ來りたる夜警に告げたるが賊は逸早く裏戸を蹴開けて何れにか逃亡姿を晦ましたり目下所轄鎭安警察署に於ては八方賊の行衛搜査中なりと

# 五千圓の脅迫狀

兇賊縛に就く

慶北義城郡玉山面立岩洞居住玉山面書記李圭純(三五)は外一名と共謀し十一月二十日青松郡縣東面昌陽洞の趙完植に對し十二月七日青松義城兩郡界なる鼎嶺と稱する峠路に現金五千圓を持參すべし萬一遲延せざれば危害を加ふべき旨の脅迫狀を送りたることを探知したる義城警察署の刑事が前記の峠路に待伏せゐたるに李圭純は果して其の網に引掛りたるも言を左右に托して縛に就かざりしが其後件の脅迫狀に依りて其の筆蹟を徵したるに全く李圭純の所爲と判明したるを以て此程同署に引致して嚴重に取調べたるに全く自己の仕業なりしと白狀するに至れりと

# 映畫の影を逐うて

西洋物と舊劇

活動寫眞の興行が好時節なる上半季に於いて最も良いといふ事は單り京城のみならず一般に然うのやうであるが京城に於ける本年の下半季は有樂館の開館があつてその上に

◆競爭が 益々烈しくなつたので非常に虎列拉騷ぎなどがあつたので非常に打擊を受けて損失を蒙つたのは事實だ、京城の活動寫眞の歷史を溫ねると一館の時があり、二館となり三館となつた事があるが、內地人觀客を本位とする寫眞の三館は如何にしても多いやうである、尠ない觀客の奪ひ合となるの結果は

觀客の趣味は怎な方面に向ふか

◆無理な 興行方法となり競爭倒れに陷る、此例は今日までに大分ある、現に今●急存亡の境にある館もある、要するに三館は多い、觀客の方の傾向を見るに一兩年來京城市民が活動中毒にかゝつたといふ事は曾つて記した事があつたが、それが今年になつて最も著しくなつて來た模樣である、然もまだ他の興行物に比べると餘程

◆堅實な 所がある、內地人專門の寫眞の營業成績が思はしくないのとは全く反對に多くの利益を收めてゐるのは朝鮮人專門の優美館であるが、之れはいゝわけであるといふのは第一內地人に比し觀物能力は薄弱なるにもせよ四倍近くもある朝鮮人を得意としてゐる事、第二には獨專なる事、第三には寫眞料、辯士費廣告費

◆廣告費 館內の設備等の經費が少なくて濟む事などである、何んとこころによると優美館の如き月に六七百圓の利益があるといふ噓では無さゝうだ、比較的智識の低い朝鮮人に無鐵砲に寫眞を擇ばず觀せるのは危險であるが、心ある人が眞面目に考へて有益な寫眞を提供するとしたら、尚ほ一 倍位は朝鮮人

◆專問の ものがあつても好いやうに思はれる、次に京城の一般觀客の寫眞物の有つてゐる傾向に對する興味を見るに、一年毎に變化してゆく事は爭はれない事實だが、また最近に於ても頻りに上場される新派物は依然として嫁と姑の葛藤とか、御家騷動とか財産爭ひとかの範圍を出ず、役者も殆んど極まつて居り、舊劇物も草迦々々しい立廻りとかお化物とかに限られ、

◆西洋物 と言へば探偵物、冒險物、奇拔な追掛物で無くてはならぬやうであつたが、近頃になつて一部の渴仰者を除くの外は漸く是等の寫眞の千篇一律なるに飽いて來た風が見えて來た、然らば一般觀客の趣味は怎んな方面に向つてゐるかといふに新派物では適當な例は發見し難いけれども、新聞小說物、現代人の何にかの

◆急所を 衝いたもの等だが一般に甚だしく不自然な悲劇より、現代の社會の裏に潛んでゐる或る事柄を成るべく自然に滑らかに寫して行つた喜劇風の脚本を喜ぶのは事實である、舊劇にあつては莊重な趣きのある時代物、世話物にしても成るべく幕數の少ない、極端に言へば一幕物を歡ぶ風があり、西洋物では戰爭物は餘り受けないが

◆歷史物 或は文藝物、子供を使用した敎訓的のもの等が一般家庭に歡迎されるやうだが、飜つて京城に於ける現今の寫眞界を見るに觀客の大部分が前述の寫眞を要求するものではないと見れて是等の寫眞は目毎に上場されるまでにはゆかないらしい（つゞく）

## 讀者文藝（一等には五十錢の當籤券を呈す）

▽物は付け『氣になる物は』

○恨の一言（一等）　京城西大門　湖村生
▲放蕩息子の行く末（先發）　平壤　澤田赤
▲見台の首尾　京城　多美子
▲新聞の號外　奉天　高野生
▲險許の新人　龍岩浦　香空
▲滯つた仕事　京城　東海
▲發車前の時刻　龍岩浦　岡子

（十二月十三日作）

讀者文藝課題及募集規程
▲募集規程 ▲用紙は端書又は型同の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は選名……

天氣 ……曇後少雨雪

# 乘馬倶樂部忘年會

京城乘馬倶樂部にては來る十五日の午後六時より千代本に於て忘年會を開催し乘馬同好の人々にて一席の歡談を試むべしと猶ほ發起人は飯塚徹氏、飯泉幹太氏、大橋常三郎氏、岡本功氏、田中宇三氏、中野有光氏、村田素一郎氏、菱田靜治氏、鈴木穆氏にて會費五圓なり

# 二棟燒失す

平南江西郡飯山面龍德里農金錫仁方にては去る七日午前七時物置小屋より發火し一戶二棟を燒失し二百十五圓の損害なりし原因は戶主の孫金長孫(五)が積藁の傍にて燐寸を弄び大事に至らしめたるものなりと

# 山賊

慶北奉化郡物野面佳坪里木商李濟淵(五〇)は去る五日午後六時頃同郡梧田里村達嶺の山道を通行中二人の賊現はれ出で棍棒にて同人を毆打負傷せしめ五圓二十五錢を奪取して逃走したりと

# 五人組

去る七日午後十一時頃慶北慶州郡內南面芦谷里李錫練方へ五人組の強盜闖入し金品三十六圓卅六錢を強奪して逃走したり犯人不明目下搜査中なり

## 燈ともごろ

▲野田大塊翁が東京に著くと直に井上孝哉、三島太郎、加納友之允の諸氏翁を迎へて一會を催ふしたさうなが例に依り『鐵腕を振ふ時哉雪の花』大塊『冬枯や一本殘る松の色』三島北海『雨に濡れ風にたゝかれ待つや春』井上洪鑒▲故夏目漱石氏と緣續きになる鈴木土地調査局長が昨年上京した時その留守宅を訪ねて同氏揮毫の秘藏の書畫を觀てその何れもが飄逸洒脫禪味を帶びたものばかりだつたが▲その落款の印肉が如何にも惡いので歸鮮してから愛藏の朱肉に添へて留守中書を觀た旨を申し送ると▲早速そのお禮に著書の草枕と共に返書が來たのを見ると▲實は妻が默つてゐたので御來書によつて私の書を御覽になつた事を知つたのだが――といふのを冐頭に氏一流の辭柄があつたが最後に今度朱肉をお送り下すつた事は有難いが私としてそれが一種の皮肉のやうにも思はれますと洒落てあつたさうな


〈演藝案內〉

櫻井町 電話八七三 大正館
十二月十二日より提供の三大寫眞 ◎滑稽ゲームを賽◎喜劇ボルドルの笑顏 ◎英國ダヴイツドソン會社大傑作◎探偵大活劇『呪の水車』全三卷六千呎 ◎新派大悲劇『涙のあと』全三卷 ◎『血の池御殿』全三卷

明治町 電話二六〇 浪花館
新時代の浪花節吉川今勝一行來る 本日よりの讀物 △義烈百傑（吉川部）△征韓論（吉川鐵舟）△熱田利生記（浪花錦昇）△實錄小栗判官（吉川容堂）△精華義士傳、根の拳銃、長講二席（吉川今勝）

早川直營 電話二六三七 黃金館
十二月十二日より差替特別大寫眞 ○日本館伊勢船池水式 ○滑稽ゲジーのハレム行 ○實況 ○滑稽ナツセルの我慢 ○伊太利アムブロザオ會社特作品▲泰西大悲劇『涙の判決』全四卷 ……涙の判決……裏面に如何なる情緒の含まれてか……見よ、開け……若き辯護士の苦鬪
△大正五年十一月九州に於ける陸軍秋季特別大演習實況撮影長尺 ○舊劇不津勘助 全四卷 △天活會社特別撮影 ……

東京新海苔出盛
本年新海苔は稀有之學作品質良好價格普通此際弊店は特に勉強可致何卒御用命奉願候少數御注文は小包引替出荷可仕御用之節町名御注意願入候
東京市京橋區南傳馬町二丁目 山形屋窪田商店

期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 登錄電信略号 オサカソガ 曽我商店 振替大阪 電話長北 自宅電話西の宮

大正六年一月一日ヨリ定時總會ノ終了迄株式名義ノ書換ヲ停止ス
大正五年十二月 振威興農株式會社

市內四通八達の場所にして庭園廣く眺望絕佳至つて閑靜の地なり
佛蘭西料理調進
客室 食堂 完備
宴會は特に御便利に取計可申候
京城南大門通三丁目 ファミリーホテル 電話一二一八番

公告
大正六年中ノ取扱ニ係ル商業登記其ノ他法令ノ規定ニ依ル登記ノ公告ハ當院ハ仁川支廳ニ於テ發行スル朝鮮新聞當院及前記以外ノ當院支廳並出張所ニ於テ發行スル京城日報ニ每日申報ニ揭載ス
大正五年十二月十三日
京城地方法院

產前產後の病婦人宮子血の道に効ある
登錄商標
清婦湯
効能（警視廳認可）月經不調、子宮痙攣、子宮內膜炎、帶下、こしけ、偏頭痛、惡阻、產褥遲延、痛痛、感冒、ヒステリー（血の道）神經性心悸亢進
說明 月經調はず、子宮病、白血、長血、寸白、こしけ、產前產後つわり、引風、逆上、頭痛、眩暈、息切、動悸強く、手足しびれ、下腹手足の引きつり、痛みむくみ、足腰の冷え、氣塞ぎ涙出で、根氣薄く、心身疲れだるく、癇高ぶり、物事氣に掛り考へ込み、寢つき惡しき等の其他血の道の一切に効あり
一日分七錢 三日分二十錢 一週間分四十五錢

本舖 東京日本橋區元大坂町 高木與兵衛 振替口座東京四六八番 電話長浜花六七〇番

羅馬時計 實用金屬
最新式流行品著
歲暮景品附
大賣出し
京城本町一丁目 勅奏堂ひら井時計舖 電話二二〇一番 振替一二六一番

八木田博士御處方 島田博士御鑑査
アナタの胃病はマーゲンで治る
八木田醫學博士御處方 島田藥學博士御鑑査
強胃消化錠 ─新式服用錠劑─
本劑の特色
二、博士御處方 本劑は舊式胃病藥と異り其效力は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃腸を爽快にす
大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

…元山より京城に…口なき爲め本町二丁目の中島田服…が同情して雇ひ入れたるに僅か一…月も經過せざる十二月七日主家を…

◉連絡船上陸客 十二日午前九時釜山入港高麗丸一二三等客 …… 十二日午後釜山入港對馬丸一二三等客 ……

「提議」の號外を發行し…川方面へ配布したり

## ◇「巖」の由來
### 故大山公の逸事
【渡正元氏の追懐談】

丁度普佛戰爭の終る前自分が巴里籠城中の或朝新聞を見るとベルサイユにある獨逸の大本營に日本の

▼士官が八人 程あるといふ記事が出て居たが翌千八百七十一年の一月になると巴里が開城される城内へ搬び込む糧食車へ八人の日本人が乘込でやつて來た逢つて見ると薩長土肥の四藩から選抜して朝廷から軍事視察の爲め獨逸へ派遣された連中で薩藩の大山彌助、長藩の品川彌次郎、土佐藩の林有造、肥後藩の池田彌一に外一人の隨員がついて居た

故大山公令嗣柏中尉夫人武子の君と公令孫

▼當時彌助と 言つた大山公は二十七八歳の若者であつたが東北征伐の功で既に少將であり又た大藩の出身である所から一行の牛耳を執つてゐた、巴里籠城中の事情を調べたいが言葉は判らず文字が見えぬから何か話して呉れぬかといふので自分が開戰から講和まで毎日の日記を見せると公は非常に喜んで「この日記があれば何でも判るから之を俺が先に持ち歸つて朝廷へ報告しよう、どうか此の日記を貰ひ度い」といふ譯で自分も承知し公は

▼日誌を携へて 一人で先に日本へ歸つたが間もなく本官を辭し佛蘭西へ留學を願出で兵部省で印刷した籠城日誌を土産に持つて來て呉れた何れも日本を發つ時に頭は散髪にして洋行したが一番年長者の池田彌一といふ人物が何と言つても髪を切らぬので宿屋で寢て居る處を大山さん抔が鋏で切つたといふ様な珍談もある公が

▼初め巴里へ 來た時には彌助と名乘つてゐたが二度目に來た時は「岩」と改名して來たので自分等が岩は可笑しい大山につけるには山冠に嚴の巖が良らうといふと「然らば左うしよう」と言つた様な談で今の名が出來たと記憶してゐる雖て品川は伯林へ行き他の連中は日本へ歸り明治四年から五年の初め頃まで公も巴里で

▼書生暮しを して佛蘭西語の稽古などしたが國から砲術研究を志望して居た公は當時砲術の最も進んで居る瑞西のゼネバへ留學する事になり巴里を去たのであつた（東京支局）

## ◇正月の盆栽いろ〳〵

正月も間近くなつたので仁川市中には注連縄や餅搗の注文取りが頻りに名刺を投げ込んで歩くやら

◇歳暮の大賣出しやらで此處四五日來急に師走氣分が漲つて來たが一兩日前から正月の盆栽大賣出しなど言ふ看板も市内に見出して香りも床しい寒梅や清楚な松竹梅の盆栽などが

◇店頭 を飾る様になつた、種苗店では今年も矢張り宮町に店を出したが種類は重に松竹梅、萬年青、南天、寄梅アネモネ、チユーリツプ、ヒヤシンス、逆蒔等で梅はもう蕾が赤く膨らんで居るから咲いて年取る梅の花と歌にも有る様に二十五六日頃には

◇綻び ろだらう床の間を飾るには松竹梅の植込みで山水に形造つたのが品が宜く値段は一圓以上五圓位迄である、萬年青は未だ揃へてないが南大高野松さ同じ様に一鉢四五十錢で梅は桃の古木の臺に接いだのや十二三年者の一尺乃至二尺位ひのが一圓以上二圓迄である、從來正月用の松竹梅は多く

◇内地 から移入したものであるから忽ち枯死して了つたが本年のは仁川で培養したのであるから枯れる樣な憂ひはない相である商行は一般の趣味が高まつて行くのと鮮人紳士間に流行する樣になつたので年々増ゑて行く現に開店早々から朝鮮人が買つて行くし内地人も多少

◇趣味 を解する人は足を留めると言ふ風で十年前の一年間を通じて賣上高が僅かに二百圓内外に過ぎなかつたのが昨年は二千圓以上に達し現在仁川に在る盆栽丈けでも百五六十鉢を下らない此の方面の天狗の中でも逸品を秘藏して居るのは木村宮村の諸氏で加來、河野、奥田等の諸氏も相當のものを有つて居る（仁川）

## ◇福壽草を咲かせる

には何うすればよいかと…［以下小活字、大部分判読困難］…其の鉢は夜間は御座敷の暖かな所に置き日中は日當りの良い所に置いて毎日頭から水を與へるのです若しガラスがあれば其の内側に入れて置けば尚ほ更結構です此の様にして花が開いてから他のものと植え込みに…

## △會のいろ〳〵▽

◉西大門小學校義士談會 同校にては十四日…義士…にて義士談會を催すと

○西本願寺（若草町）十四日午後一時より…

## 神社とお寺と教會

◉巖手縣人會 京龍在住の同縣人を以て組織せる巖手縣人會は小原農商工部長官並に來る十七日入京すべき代議士榧瀬軍之佐氏の歡迎會及び今回渡米の途に上るべき善隣商業學校教頭切田太郎氏の送別を兼ね來る十八日旭町料亭白水に於て盛宴を張る由

## 懸賞新年文藝募集

課題
▼和歌「遠山の雪」▼俳句「松飾」▼川柳「寶」▼俗謠「正月」▼ものは付「新しい物は」▼一口噺「新年に因めるもの」▼下句付「謡ぞめ」▼謎「新聞とかけて」

制限
（一人に付）一題一首又は一句、但し一人にて幾題を稿するも可し（用紙）葉書又は同型の紙（〆切）十二月二十日（注意）題毎に別用紙に認むる事「京城日報社編輯局新年文藝係」に宛て送附する事

賞品
各題に付▲一等一（一人）▲二等五十錢宛（二人）▲三等三十錢宛（三人）（但し本社代理部の相當品書切符贈呈）

## 商況

### 東京株式特電
講和説にて人氣混亂し午後一時迄立會休止

| 十三日前場 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 日本郵船 | | |
| 京城電氣 | | |
| 滿鐵新株 | | |
| 同 | | |
| 日本麥酒 | | |
| 東株第一 | | |
| 東株第二 | | |
| 東新第一 | | |
| 東新第二 | | |

### 債券現物特電
十二日出來値段（前日との比較）

| | | |
|---|---|---|
| 東京 | [illegible] | |
| 京城 | [illegible] | |

### 東京公債直取引
[illegible]

### 深川在米特電
| | | |
|---|---|---|
| 十三日前場 | | |
| 肥後米 | 二〇、八四 | |
| 加賀米 | 二三、九〇 | |
| 内地米 | [illegible] | |

### 東京期米特電
[illegible]

### 大阪三品特電
[illegible]

### 大阪株式特電
十四日前場講和説にて立會延期
[illegible]

### 大阪期米特電
[illegible]

### 下關期米特電
| | | |
|---|---|---|
| 十三日前場 | | |
| 十二月限 | 一七、〇八 | |
| 一月限 | 一七、三〇 | |
| 二月限 | 一七、七七 | |

### 雜報
| | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| [illegible] | | | |

◉綿糸不立會 戰時影響と本年作柄減收豫想に奔騰を續けし米綿も九日二圓七十錢十一日更に六十錢方の大暴落を報じ近年稀有の現象と…［以下判読困難］

◉鑛力新高値 …今日に至り遂に五十圓値といふ高値を演出…

◉糯は人氣安 …五六十錢安…

◉新高値 …

◉洋藥類は強硬 …

◉陶器類天井打 …

（廣告）仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 三巴仲買店 電話三二二一

### 下關相場
…

### 上乃至六七割方の安値時代の二倍以上の高値 …

### 京城正米
| | |
|---|---|
| 朝鮮一等白米（當用） | 十六圓七十錢 |
| 同二等白米（常用） | 十六圓三十錢 |
| 大田大豆 | 十二圓八十錢 |
| 元山大豆 | 十二圓三十錢 |
| 鎭南浦大豆 | 十一圓九十錢 |
| 黄州大豆 | 十一圓九十錢 |
| 宜川大豆 | 十一圓七十錢 |

### 京城雜穀
…

### 南大門の廻穀
…

### 仁川現物市場
…

### 大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九一二番

### 釜山市場 十二日
…

### 仁川期米
△十三日前場 天前寄十七圓七十七錢と昨止より十六錢安の入電二節七十八錢…三節七十一錢と大阪八十錢…

（廣告）田中金次郎 仁川米豆取引所仲買人 電話二六二八番

### 市場零聞
△俄然下押す …大々暴落を報じ…大阪八節…余勢六十五錢と瓦落…

### 仁川米豆引所
| 十三日の二月限 | |
|---|---|
| 寄付 | 十二圓八十一錢 |
| 止め | 十二圓七十一錢 |
| 高値 | 十二圓八十六錢 |
| 安値 | 十二圓六十五錢 |
| 出來 | 四萬三千百石 |

| 賣買取組高 | |
|---|---|
| 十二月限 | 二百五十石 |
| 一月限 | 一萬七千七百石 |
| 二月限 | 十四萬二千二百石 |

### 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話二八二番 八三番

### 小賣白米
…

### 白米標準値
十五圓四十錢 十六圓五十錢

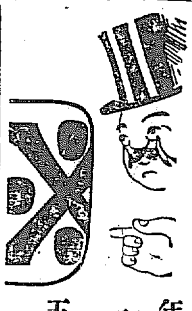
### 青物市場
| | | | |
|---|---|---|---|
| コイモ | 二五 | ハクサイ | 三〇 |
| サツマイモ | 二〇 | タマナ | 三〇 |
| アカメイモ | 二五 | ミツバ | 二五 |
| ツクイモ | 八〇 | シンキク | 七〇 |
| レンコン | 二〇 | ホウレンソウ | 二〇 |
| ゴボウ | 九五 | ナツパ | 一五 |
| クワイ | 二五 | カイワリ | 二〇 |
| ゴボウ | 二〇 | ウド | 一八 |
| ニンジン | 一〇 | ワケギ | 一八 |
| ダイコン | 二五 | サヤマメ | 五 |
| カブ | 二〇 | キウリ | 八〇 |


品質第一 誠實第一 賣行第一
最上醬油 キッコーリウ
仁川元港 釀造
日本醬油株式會社
京城出張所 京城大平通二丁目 電話二四五番

淋疾內用
ゴノリン
本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合體ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ進用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿量ヲ増加シ且殺菌作用偉大ナリ。
急性、慢性、淋疾及消渴、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス
宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。
各地有名藥舖ニアリ 説明書進呈ス
東京室町 三共株式會社

◎一等割增金貳千圓附
◎初回くじびきは來年三月
◎第六十五回 勸業債券（四分五厘）利拾圓券 賣出
◎來る十二月十一日より二十五日まで
◎日本勸業銀行及各地代理店、取扱店並に郵便局にて

醬油値上げ廣告
今般原料騰貴に付來る十二月十五日より從來の値段に對し
一割上げ
右の通實行仕候間不相變御愛顧之程希上候
仁川醬油釀造業組合
京城醬油釀造業組合
永登浦 大塚醬油釀造所
平壤 宮川醬油釀造所


年末年始の御宴席には
印※も、銘（澤之鶴）も、香りも、色澤も、味も
五ツ揃つて愛たい
※サワノツル が一等です
特約店 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番


…者には五十錢書籍券を呈す（但何番何號と明記に限る）

報
め

# 明君道中記

第四席 田邊南龍口演

御總領長丸君早逝に就てお福は竹千代君の乳母傅役として附けられました。然れば竹千代君國千代君の兩名はお江よの方のお腹にして決して妾腹ではございません。太平年表に依て御子樣方の御名前と御誕生の年月を申し上げれば、慶長の二年四月十二日御誕生千姫(秀頼公の御簾中)同四年御誕生子々姫(小松中納言利常侯の御簾中)同六年五月十二日御誕生勝姫(越前宰相忠直侯の御簾中)同八年七月初姫(京極若狹守忠高侯の御簾中)同九年七月十七日御誕生竹千代君(家光公)同十一年五月七日御誕生國千代(忠直公)同十二年十月四日御誕生和子姫(京都へ御入輿立皇后東福門院)斯くの如く姫君のみ多くお生れに相成る中に慶長九年七月十七日に竹千代君御誕生に相成りましたから、御父君よりは御祖父家康公に於ては此の上もなき喜び武運長久を祝して二代の御正服に御世繼が出來るといふは芽出度ことであるといふ、勿論德川家は初代からして十五代まで將軍職を襲だお方が御正腹が少く大體御妾腹であつた、中に三代將軍は正しく御本腹に相違ございません、然る處又々同十一年五月御出生になつたのが國千代君、後に駿河大納言と云はれたお方、結局一ツ違ひの處で御臺樣が御弟の方をお愛しになつて是を三代の將軍に立んといたしたる處から竹千代君をお

福がお持ち申したといふ説が立つたのでございます、其頃江戸城にては中の丸樣といふは即ち竹千代君で、御附は駿府の御隱居の御眼識に叶ひましたる土井大炊頭、酒井讃岐守、青山伯耆守此の三名が竹千代君の御附でございます、是を智仁勇の三傅役と稱へます。又末の丸樣といふ是が即ち國千代君の御住居で、御附は本多上野介、井上主計頭、鳥居左京亮の三人が御付つた、然る處竹千代君の方は御幼少よりして愛嬌が無い其に引換へ弟の國千代君は大層愛嬌があつて家來に至るまで國樣が御家督になれば萬代不朽だが、總領の甚六と云つて竹千代樣は何だか本丸へ入り三代の相續は六ケ敷なぞと内々云ふ者がある、それは下々の噂であるから如何とも詮方がない、移れば變る世の中とは云ひながら情けないのは竹千代君、秀忠公も又御臺所も就中國千代君の方の御寵愛深く御總領の竹千代君を疎み嫉ふといふ樣な譯で、兎角に追從輕薄を事とする人の淺間敷さ、遂には諸侯方まで末丸樣末丸樣と云つて國千代君の御機嫌ばかりを取る樣になつて、今は早や竹千代君は總領とは有名無實で有つて無きが如く痛はしき處の有樣、此の御側に附いて居る人々旦暮歎き悲んで居りまする、最も竹千代君は恐しい御氣性暴くして日頃庭前へ出て遊ぶにも小姓を相手に木上りをしたり、池の緣を廻り築山へ登つたりなぞして騒いで居りまする、スルと何處から出て來たものか尺ばかりの小蛇がニヨロ〳〵と足下へ這て來た竹千代君は驚いて竹『アレー蛇が』と怒鳴た、處へ恰度來かゝつたのが大老井伊掃部頭直孝、此の態を見るより庭へ飛下り扇子の要の方を反して蛇の胴を押へるとグル〳〵とそれへ巻付た、其儘にして閑い外へ打捨て取て返し 井『君樣、掃部が蛇は取捨ましたから御安心遊ばせ 竹『オー掃部能く捨てくれた 井『それに就て一言申し上げますが、君は御辨年なれども御成長の後は三代の御家督を襲で征夷將軍職になるべき御身分、僅か一尺に足ざる小虫を見て是に驚き只今の樣な大聲をお發し遊ばすは何事でござる、左樣なことでは天下の主將となつて政治を掌ることは覺束なく存じます、以來はお嗜み遊ばす樣 竹『ウーン、掃部、其方の申すことは合點が行ん、小さい物は何でも恐くはないか』と云て直孝を睨だから掃部頭は是を聞てブル〳〵と慄ました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目(金光教會隣)
安部醫院 電話四一九番

十二月十五日九星
舊十一月二十一日 丙戌
赤命 五黄 八方閉 先勝

△五黄◎ 無益の呼を生ぜんとす新事見合南方は喧嘩なし △六白◎ 用意周到の日萬進て大利有り待人良報を携て來る △七赤◎ 望の近き日なり入學金談名出發結婚建築試驗を受る皆吉 △八白◎ 友邸親を生じ易き日新事手控商事土工は効なし △九紫◎ 大願届く日縁結開業入學名弘會件婚約鑛山業を起す等皆吉 △一白◎ 手の屆かぬ事有る日新事手控親事は吉一切のかけ事を禁す △二黒◎ 他のせわ事にて迷惑する事有る日新事手控家の事は吉 △三碧◎ 反對者の事有る日新事手控

廣告

◎毛布の處分的投賣

本邦製産の輸出毛布某國商館と多數約定せしも今回メリヤスと共に是が貿易杜絶の悲境に陷り其處分に困り果毛織會社は其製品を京都市寺町二條南入和田卯一郎商店へ委托し左の如き殆ど時價の半値段にて一定の量を限り販賣する由讀者は此際至急購求し置くは非常の利益なり
△薄茶色二枚續きラクダ毛布極上品特別大判特價金四圓九拾錢 因に「ハガキ」にて申込は直に代金引替小包逓貨費にて送付する由

流經新藥レスノリン
月經 閉止經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ確達ス 其流經作用ノ貫ナルコト他藥ニ優越ス
◎一瓶一圓 送費十二錢 海外卅錢 切手一割増 說明書地方郵券切手添申越進呈 振替大阪三五一〇番
大阪北區分根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

△悲喜極度の運命 △波瀾重疊の世の中

## 一人息子の肺病全治す

▲慈母の手紙に―斑々たる涙痕▼

●山よりも高く●海よりも深き 親の恩愛

肺病は全治すとの斷言は進歩せる醫界の學説として夙に耳にせし所なるが肺病全治の事實は安原尚親氏の身の上に於て實地に之れを目撃するを得たり安原尚親氏は現に日本橋區に於て國税納額數千圓に達しつゝある紳士なるが曾て肺病に罹り内外の藥石も箱根國府津修善寺の轉地療養も其效なかりしかば氏は一大決心を以て生死を賭し最新奇抜の療法を實驗して吾病軀を肺病療法研究の犠牲となしつゝ有ゆる實驗療法を斷行せしが最後に一奇劑を完成して之を服用し日毎に病勢を減じ迅速に快方に赴き約三箇月で全治せり全治後の氏は同術を以て肺病、氣管支の患者に自己實驗の奇藥と療法を授くるに驚くべき卓效ありて既に數千人を救濟し來り續々到着の感状も山積しつゝあるが中にも高知縣人宮本なる一中學生が氏の療法により危篤なる肺病を全治せりとて嬉さの餘りに本人及び其母より寄せたる禮状は燒野の雉子夜の鶴子を思ふ母の恩愛の赤き涙が紙上に躍るかと思はるゝ迄に天眞流露せるものあり氏は此手紙を見て同情の涙に袖を濕したる由なるが人の子として之れを讀めば山よりも高く海よりも深き親の恩に想到して大に風教に補ひあることなれば爰に事實の有の儘を報道する所以なるが全治少年の住所氏名も固より明細に判り居れども安原氏は之れを本紙上に掲ぐることを好まれざる有樣なる故特に之れを省くものなり尚ほ安原氏は自己病中の艱難を回顧し胸底より湧く温き同情より一人にても多くの同胞患者を救濟せんと濟生の爲め自己の罹病を自覺せる最初の實況より咳嗽發熱喀血等病状の經過、實驗有益の療養法、回復の動機より全治の強壯體となりし迄の事實眞相を誰にも同じく出來る樣親切に一冊子に説述しハガキにて照會者には無料にて嚴封郵送されつゝあれば肺、肋膜、氣管支の患者は決して悲觀せず直に東京市日本橋區呉服町二番地安原尚親氏へ(京城日報導と記入申込)此大福音に信頼し一日も早く全治者の一人となられんことを切望するのである。

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 in a bottle ... ... ... ... ... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 drops in a bottle ... ... ... ... ¥ 1.35

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.
Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are Supplement with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり

河合龜太郎氏創製

本邦及英米國政府 專賣特許

○肝油ドロップス

○肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料なり
○複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵。有機燐及び石灰。規那等を含有せしむ

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用

| | |
|---|---|
| 五歳以下 | 一回一顆又は二顆 一日二顆乃至四顆 |
| 十歳以下 | 一回二顆又は三顆 一日四顆乃至六顆 |
| 十五歳以下 | 一回三顆又は四顆 一日六顆乃至八顆 |
| 大人 | 一回三顆又は五顆 一日八顆乃至十五顆 |

用法 普通菓子の如く食すべし又は砕きて細片に刻り冷水或は湯茶にて嚥下するも妨げなし

| | |
|---|---|
| 定價 五十顆入 | 金七拾錢 |
| 百二十顆入 | 金一圓卅五錢 |
| 複方百顆入 | 金一圓卅五錢 |

滋養強壯料

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり。然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形状洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す。本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所也。

(現品縮寫圖)

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京一〇七番 丸見屋商店 營業部電話浪花四四、四九四、八四四、三〇五〇番

りん病 消渇で困る方 多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治癒す良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

●ぢ疾者に告ぐ
◎いぼぢ◎きれぢ◎ぢろう◎だつこう◎出血痔に効力正しき良藥有往復端書で申越の方に詳報
兵庫縣加古郡坂元村 元庄本家

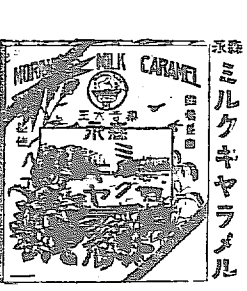
質
京城黄金町二丁目 永樂町(停留所北入)
堀佐營業所(電話六三九番)

注射に依らざる安全簡易なる
梅毒素人療法
說明書 無代進呈 ハガキにて申込め
當今發表の梅毒療法は近時醫界の趨勢に鑑み歐洲名家の新學說を研究應用したる自宅療法にて簡易なる用法の最も進歩したるものなり身體に危險を及ぼさず新陳代謝の生理作用に依り病毒を驅除せしむる他の療法に依る人も試みる必要あり必ず著しき效果を得べし
東京本所相生町一丁目十四番 東京藥理研究所 電話本所三二九五 (三五〇四)

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料はホーカー液
本品は畏くも宮内省御買上の光榮を有し衛生博にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり

七日ためして鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小瓶二十錢 中瓶四十錢
今東京で大評判の元業液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料内地八錢 淸鮮卄錢 臺樺卄錢
東京神田和泉橋際 松本藥店

歳の暮 年の始
斯く美しく淸らかに
斯く賑しく幸あれこ
贈りませや
森永の菓子



森永ミルクキヤラメル 御進物用 大小二種

スポンジメキスト 御進物用一號より五號まで

森永ゼリビンズ 御進物用 大小二種

5-30 森永製菓株式會社

京城日報 第三版 十四日朝刊（夕刊と合せて八頁）
定價 本紙一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税共六十錢
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介

# 講和說と財界の混亂
## 綿絲布相場立たず 株式暴落米は弱氣

獨逸及び其の同盟國より聯合國に對し突如講和の提議をしたと云ふ電報は十三日京城に入つた其の眞否如何であるか又事實としても聯合國側の態度は果して何れであるか其等の詳細は之れを後報に待つの外はないが右に付京城有力の商事會社支店當局は語る

▽稍根據あり　講和說は從來一再ならず傳へられたが殆んど世界の注意を惹かず神經に觸れなかつた然るに十三日の所報は日本の財界に急激な影響を與へてゐる此點より觀れば這回の報導若干信を措くに足り根據あるものと見なければなるまい然らば何故獨逸側より講和の提議をしたかと云ふに恐らく獨墺軍が最近羅馬尼を散々叩きつけ露國の左翼を脅かさんとして餘程勝目にあるから此際和議を結ぶを有利とすと云ふに一致したものであらうそれに兩軍共に三年越の戰爭に疲れてゐるのは爭ふべからざる事實であるから今回の講和說が單なる風聲鶴唳として一般に斥けられなかつたと見るの外はないやうだ唯聊さか怪しいのは留の價格である十三日朝ハルビン及び長春の相場は百圓對百九十留を報じ前日に比し幾干の下落を見てゐる果して講和提議眞にして根據ありとすれば露貨は上向かねばならぬ筈である其れが下つたから怪しい

▽內地財界の影響　多くの疑點ありとするも這回の講和說の內地に與へし影響としては第一綿絲綿布の相場立ずこの入電あり第二に株式暴落米價弱氣配を報じて來た綿絲綿布の相場が立たぬのは全く講和說の眞疑に氣迷ひを生じたものと見るべく萬一講和眞にして平和の日の到來遠からずとすれば支那及南洋に占めた日本綿系綿布の獨占的地位を歐洲製品により打破らるゝと云にあるだらうそれも講和が事實と定まれば安ければ安いなりに相場も立つが不明の爲に形勢を觀望してゐると云ふ外はない諸株式の暴落は人氣の結果で米價も亦人氣に動いたのであらう株式暴落の程度は未だ分らぬけれど成金連の恐慌は想察に難くない米の安値が讀く以上差し向き朝鮮の諸貨に大影響を來し半島財界の爲めに寒心に堪へない譯である

# 講和の機にあらず
## ゲール監督談

獨逸より聯合國に向つて講和を提議したりとの電報を携へてゲール監督を訪へば監督は右に付語りて曰く

獨逸が聯合國に向つて講和を提議したと云ふ電報が來ましたか｜獨逸は中々策略を弄することの上手な國ですから今度

▲羅馬尼の首都を陷れて多少有利な地位に立つた機會に於て此擧に出たのでしやう、けれども此歐洲に大戰爭は一朝一夕に突發した問題でなく種々な込入つた事情もありましたし開戰後に於ても白耳義や塞耳維の蹂躪と云ひ其他紛糾した色々な事情があるので

▲假令獨逸が講和を申込んでも聯合國では聽入れまいと思はれる殊に英國や露西亞はまだ〳〵小手調べと云ふ樣なホントの試驗時代でこれから大に活動しやうとして居るのであつて英國では今度新進氣鋭のロイド、ジョージ內閣が出來て大々的活動を開始せんと計畫して居るに際して

▲如何なる條件の下に提議されたかは知らぬけれども容易に聽入れやうとは思はれぬ若し現今の形勢のまゝで否多少にても有利な條件を以て講和をせんとの野心を包藏せる獨逸の此の提議が容れられることになれば幾年ならずして再びより以上大なる爆發を見るであらうと窃かに思つて居るのである此戰爭の爲

▲幾十萬の生靈が　無慘の死を遂げつゝあるのであるから一日も早く平和にならんことを希望して已まぬのであるけれども此戰爭は仲々容易に終息することは出來ないやうである、故に講和の期は何時であるかと云へば獨逸が一敗地に塗れて再び起つことの出來ぬやうになるかして

▲聯合國が戰ひ利あらず　如何なる手段を以てしても獨逸を如何することも出來ぬやうな場合に立到らねば此戰爭は終末を告げなかろうと思はれる云々

# 松花江の遺利

▲航權の價値　日露協約の附帶條約は未だ發表せられず從つて松花江航權は果して我れに獲得され得べきか又獲得航權は果して何處より何處迄なるかすら不明なる今日其價値を論ずるは早計に近きも今該江を詳細調查せる關東都督府員の說に據れば少くも老爺鍋より吉林及び吉林より伯都訥を經て大賚縣（嫩江にかゝる處）に到る線を得ざれば價値太だ少し更に此れ以上の航權を得れば其利益の大なる事論を須たず

▲豐富の漁業　松花江に魚族の饒多なることは普く世の知る所なるが實際は其噂以上にてとりわけ邦人所嗜のすつぽん及鰻の如きは支那人は之れを捕獲せず而して現に漁撈に從事する者は吉林哈爾賓間大約二百戶、千人以上ならんが其漁法不完全にして充分改善の餘地あり殊に缺點と見るべきは解氷期間の貯藏法を講ぜざるにあり冬季江氷を貯藏して生魚の儲市街に運搬するか又は罐詰製造をなさば此缺點を補ひ得べし支那人は冬季氷を打破し火藥を用ゐて捕漁し凍魚を遠く各地に送る此法亦研究の餘地ある可し

▲土地の利用　松花江の灌流する滿蒙の大平原に多天の可耕地を有するは言ふに及ばず單に江の兩岸に存する荒蕪地の利用丈にても差向き邦人の發展に供して餘りあるを信ず卽ち吉林より小城子附近に到る江岸に近き所は僅少の投資に依り多くの水田を得べく稻の耕作に適することは現に支那人が良好に稻を收穫せるに見て明かなり其他沙地の利用法又著無と云ふを得ず

▲絕好の獵場　松花江流の水禽鳥族に富むは他に比を見ざる所にて前米大統領ルーズベルト氏の亞佛利加猛獸狩を擧ばずとも我邦人が猫額大の小區域に小鳥を狩り鯊魚を釣らんより切めて一週間の時日を割愛して此富贍の觀察旁々出臟を試みらるゝの士あらば實に一擧兩得の幽雅なる可しと（大連）

# 日報詩壇

○秋日遊山寺　安東　翠雲
白雲一道近僧房。忽覺碧巒禪味長。不管千林多落葉。機心拋去禮空王。
評曰　一讀脫世情

○善竹橋　黑柳　靜洲
春風秋雨幾經年。碧血于今痕尚鮮。一柱難支傾大廈。良儂忠節竹橋邊。
評曰　毅魂將焉喚將來

○阿牧茶屋
大同江畔有高樓。丹碧參差夕日流。少女如花爭侑茗。紅顏紅葉不知秋。
評曰　妍麗極有情致

○初冬書懷　齋藤　三貢
孿月入窓霜氣凝。時聽新雁感難勝。評炭價三寒夕。兩我吟軀似凍蠅。
評曰　諧謔亦妙

○寄望月桂軒　富澤　雲堂
綠樹新陰別漢城。一年已過又秋聲。顏迎我夢非夢。笑說塵仙痛爽情。久養吟腸李杜城。社中第一放名聲。然照丈塵仙窟。不耐雞林寂寞情。
評曰　語不必深、句不必琢、眞率有致

○霜夜聽鐘　安永　春雨
客去虛窓月氣凝。嚴霜蒲地硯生冰。聲從斷鐘聲起。知有下山飛錫僧。
北斗射窓霜滿園。青燈一穗役吟魂。華鯨忽吼前峰寺。遠送飛聲到水村。
評曰　句句見奇琢、落想殊工

○初冬書懷　雅島　紫峰
萬苑新霜冷透肌。會遊入夢覺猶疑。聲欲絕天知水。不是客中多所思。
評曰　俯仰多感、一結極好

## 日報新年詞壇
=募集課題=

漢詩　課題『丁巳新年口號』但し近體古體を問はず
『遠山雪』
短歌　課題『春の灯』（一人五首以内）
俳句　課題『お降り』（一人十句以內）
（注意）締切十二月二十日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事


賜天覽台覽

經育土地建物株式會社長　岡本米藏君著

木島櫻谷畫伯裝幀　寺崎廣業畫伯口繪　渡邊华先生月光作歌　米野廣之助先生作曲

中判洋裝堅牢函入　第六拾版　正價壹圓郵税八錢

經育土地建物株式會社長　岡本米藏君著

紐育市內外の地所

第四版　大判洋裝全一冊　口繪寫眞版數葉入　大判紐育全圖挿入　正價金九十錢　郵税八錢

意義ある絕好の贈答品

天下書册多しと雖も「牛」の如く希有の歡迎を受けたるもの夫れ何處にか在る！
天下名篇不尠と雖も「牛」の如く萬人擧つて讃仰せるもの夫れ何處にか求めむ！
吾人は斯の如き名著を江湖に推奬するを誇りとし、敢て賢明なる諸君の利用を要請す。

東京市本町　博文館　振替東京二四〇番

特價〆切 來ル二十五日限

東京帝國大學文科大學長　文學博士 上田萬年　東京高等師範教授　松井簡治　兩先生著

# 大日本國語辭典

第二卷　第一卷 現存 三百部限

四六倍判　革背角　革一千二百頁　挿畫四百〇四個

定價七圓　特價金五円（此部數盡くれば直ちに定價に復す。）

特價五円五拾錢（郵税各卷二十四錢臺灣樺太四十五錢朝鮮支那五十五錢）

（貳圓七拾五錢宛二回拂の便あり。）

大日本國語辭典第二卷の發行は果して絕大なる感動を以て迎へられたり。「太陽」は曰く――暗澹たる大戰亂の渦中に在て唯一の光輝ある文化を世界に代表する最大事業也。「國民」は曰く――一瞥既に第一卷に驚嘆讃美せる以上の價値ある寶質を發見して安堵欣喜せり「萬朝」は曰く――用紙體裁寸分前卷に違はず書肆の誠意欣すべし。

內容見本進呈　往復葉書申込

要するに第二卷出でて

本書の眞價を說明すべき最大級の形容詞を得るに苦みつゝあり。

各新聞雜誌は最も適切に

東京神田　冨山房　振替五〇一
東京日本橋　金港堂　振替八八一五

出張所開設

弊社業務擴張のため豫て南大門通三丁目に出張所新築中の處今回竣成に付本日より該所に於て營業仕候間何卒倍舊御引立の程奉願上候

一當社は火災保險の外運送、傷害（怪我の保險）の各保險をも兼營仕候
一電話又は葉書等御便宜の方法に依り御一報次第社員早速參上極めて懇切に御契約取扱可申上候

大正五年十二月十二日

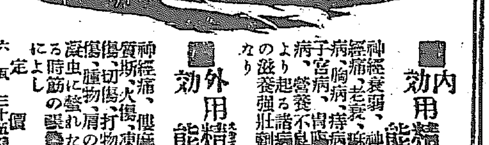
京城府南大門通三丁目八十五番地（米倉町電車停留場前）
共同火災保險株式會社
京城出張所
長電話一七七八番（事務所）
電話一八四一番（主任舍宅）

新刊圖書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 繪入猶太神話 | 高瀨俊郎 | 一、〇〇 |
| 修養十二ヶ月 | 笹川洞翠 | 一、二〇 |
| 時間の活用 | 藤川忠雄 | 六五 |
| 神尾式速算法 | 神尾銓吉 | 一、〇〇 |
| 縮刷幽靈塔 | 黑岩涙香 | 一、三〇 |
| 私娼の叫び | 金田シマ子 | 六五 |
| 木堂清話 | 犬養毅 | 一、〇〇 |
| 弱者の爲に | 杉村楚人冠 | 一、三〇 |
| 江戶俠客物語 | 林和 | 九〇 |
| 强者の天地 | 井小路康 | 一、〇〇 |
| 科學と人生 | 宗捷一 | 一、〇〇 |
| 北濱と兜町 | 島本得一 | 一、四〇 |
| 歐米の女性 | 中島正當 | 一、二〇 |
| 近世立志編 | 新村修道 | 八五 |
| 處世奧義 | 長谷貞太郎 | 一、二〇 |
| 工業金融論 | 杉本陽吉 | 一、三〇 |
| 小說姉と妹 | 西田若犀 | 一、二〇 |

東京本郷 巖松堂書店

朝鮮總督府許可



人參エキス

內用精能　神經衰弱、神經痛、胸病、老衰、子宮病、痔病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり
外用精能　神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物、腫物、肩の凝時、虫に螫れた時に用ゐて良し

定價 六十五錢 三十五錢 二十五錢 一、二十五錢

人參直取引大販賣所　朝鮮名產人參藥餌一切　製造本舖
京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番　振替京城三五一二番

支店　京城バザー賣店　龍山支店（龍山元町二丁目 電話三九四番）　大邱支店（京釜線大邱驛前）　釜山支店（朝鮮釜山大倉町）

其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之地方は直接本舖に御注文次第送金は振替に依る事最安全なり代金は振替に御注文次第發送可仕候に本店支店共市內は御一報次第配達可仕候

新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| 小學校地理教授の實際 | 角田政治、中野八十八共著 | 一、五〇 |
| 法理詳說判例參照債權者の法律顧問 | 森山延雄 | 一、八〇 |
| 法華經講義下 | 本多日生 | 一、八〇 |
| 電燈及燈火照明工學 | 內坂兼三 | 二、五〇 |
| 鐵道見學歐米巡遊記 | 笠松慎太郎 | 一、〇〇 |
| 通俗文藝竹柏集 | 佐々木信綱 | 一、〇〇 |
| 神秘主義埋れし世界 | 三浦關造 | 一、〇〇 |
| 一喝禪 | 中原南天棒 | 九〇 |
| 陸海軍人除隊後の方針 | 金持銳 | 六〇 |
| うたひの姿 | 稱若萬三郎 | 一、二〇 |
| 名士立志傳 | 秋野村夫 | 五〇 |
| 相馬誠忠錄 | 阪本雷宏 | 三〇 |
| 宮本武藏 | 玉龍齊一山 | 三〇 |
| 細楷大學帖 | 小野鵝堂 | 五〇 |
| 露西亞の革命と文學 | 仲田勝之助 | 三五 |
| 小說不緣 | 中島孤雲 | 六〇 |
| 小說返り咲 | 河內仙堂 | 五〇 |
| 大正六年度當用懷中英文其他日記 | 全部 | |
| 朝鮮司法提要 | 高等法院 | 九五 |

京城本町二丁目　大阪屋號書店　電話二〇八六番　振替京城二五七二番

一、標石百六拾七本　參千六百七拾本
右購買ス詳細ハ大正五年十二月十四日以降ハ總督府官報ニ在リ
臨時土地調查局

東京新形式機械的製作
竹內製釘產
京城本町二丁目　釘本藤次郎商店
電話四七八番　振替京城二五六番
價格表送呈


大阪三品特電

▲十三日後場　寄付 一六、〇〇　中限 一六、一一　先限 一七、〇〇

鉄と二錢安に寄付八錢と迄りたるも利喰に新規に買物多く七十三錢と跳れ返したる折柄大阪五百四十錢と高寄移りに五錢と上伸したるが戻りは又賣物多く今寄に立上伸せず二錢と押へ保に利喰に又へ戻りは[illegible]底弱き場面であつたが大盤[illegible]以上の大下落を[illegible]

▲能く賣る　[illegible]後場同店より賣り[illegible]玉數七千俵石

▲今能く買ふ　後場同店より買過ぎたる玉數八千俵[illegible]

▲臺の商內　後場同店より賣り[illegible]玉數四千俵石買たる[illegible]

[illegible]

十三日の二月限

十一月限　十二月限　一月限

二百石　一萬七千七百石　十三萬八千石

## ◎講和傳達依囑

### 聯合通信社發表＝彼等の條件は平和を確保するものと思惟す

聯合通信社伯林發無線電信に依れば該通信社は下の如き發表を爲せり「獨逸宰相は十二日朝米國西班牙瑞典の大公使を引見し覺書を交附し之を敵國諸政府に傳達せん事を請へるが覺書は十二日帝國議會に於て朗讀せらるべし右覺書の趣意は中央歐羅巴四國は直に講和會議を開かん事を提議す彼等の所信を以てすれば彼等の提議する條件は歐洲の永久平和を確保するに足るものと思惟し居れり」維也納、コンスタンチノープル、ソフィア三國政府も羅馬法王廳及び他の各中立國大公使を招き右に關する同文通牒を交附し之を各交戰國政府に交附せん事を求めたり（紐育電報）

## ▲獨逸臨時議會召集

### 獨宰相の說明を是認す

アムステルダム來電＝獨逸帝國議會は十二日臨時召集せられたるが該議會は開戰以來の最も重大にして且歷史上重要の意味を有する會合なるべし議員は戰鬪員に至る迄電報を以て全部召集せられたり宰相ベートマン、ホールウエッヒ氏は大本營に於て各聯邦使臣を引見し猶中立國大公使をも招致して之と會見し外務大臣は各政黨首領と會見したるが之れより先き各政黨は午前中各黨員の會合を催せり、維也納、ソフィア、コンスタンチノープルの各政府は何れも當日の獨逸宰相の說明を是認したり說明の性質に就ては今の所不明なるも講和に關することたるは明かなり尙獨逸は羅馬尼に於ける戰勝を利用して講和會議を開催せんと努むるにあるは言ふ迄もなし更に注目すべきは外務大臣が議會開會前各政黨首領も會見したるが右の會見にて外相は羅馬尼作戰の影響に就て述べたるならんと想像さる（倫敦電報）

## ▲講和は獨逸の策略？

### 聯合國側は到底應ぜざるべし ＝某外交官談＝

獨逸の講和提議に關し某外交官の談に依れば獨逸は羅馬尼に於て勝利を得將に露國に入らんとするに際し之を講和の絕好機會となしたるならんも其の提議條件は嚢に露國に向つて單獨講和を申込みたる際の條件に比し著しく常軌を逸したるものと謂ふべし即ち波蘭リスワニヤの還附を以てさへも講和に應ぜざりし露國が今更今回の提議に應ぜざるは言ふ迄もなかるべく又英國に在りては恰も聯合內閣の成るあり

新任駐露大使內田康哉子

獨國も勿論英國と同一意嚮の筈なれば何れも講和を容るべしとは思はれず唯今回の提議は獨逸が對內策として更に民心を鼓舞し同時に聯合國に向て多少軟風を吹かしめんが爲めの一法となさんとするに過ぎざるべし云々（東京特電）

## ▲畢竟瀬踏的手段

### 講和は今後も屢々提出されん ＝某實業家談＝

某實業家の講和觀に曰く、獨逸としては巴爾幹殊に羅馬尼方面の戰死甚だ有利なる爲め之れを講和提議の好機となせるならんも必ずしも未だ講和を餘儀なくせらるべき事情に立ち到れりとも思はれず殊に其の講和條件に對しては聯合國に在ても素より同意すべからざる事は獨逸自ら之を察知せりと推すべき事情あるを以て寧ろ中立國を通じて試に聯合國側の底意を探る手段なるやも知れず然も獨逸國內に於ても漸次多數國民の講和熱を昂め且つ窮狀逐日甚しき理由あれば之より尙屢々講和提議を見るに至るべく其の都度我が財界が打擊を蒙るは迷惑千萬なれば我に在ても之に處する用意を要す云々（東京特電）

## ◎支那公使外務省を訪ふ

章支那公使は十二日午後四時三十分外務省を訪問し外相及び次官と會談せり內容は明かならざるも熊に十三日頃北京發來朝すべく非公式に通告せる曹特派使問題の紛糾經過及び我は特派使中止の已むなきに至るなきを保し難き旨を述べ更に熊希齡氏特派に對し贊否の內意を質せる形跡あり（東京特電）

## ◎內田子大使親任

十三日午前宮中に於て內田康哉子に對し左の如く特命全權大使の官記を御親授相成りたり（東京特電）

正三位勳一等子爵 內田康哉

任特命全權大使露國駐剳被仰付

## ◎答禮使都督訪問

吉林督軍代理商參謀長一行は既報の如く答禮使として十二日旅順に來り中村都督を訪問し答禮の辭を述べ土產物を贈呈し終つて都督主催の午餐會並に白仁民政長官主催の歡迎會に臨み同夜旅順一泊十三日大連著滿鐵に中村總裁を訪問し滿鐵社員の案內にて市中を觀覽し夕刻總裁の晩餐會に臨み同夜大和ホテルに一泊十四日歸任の途に就くべし（大連特電）

## ◎株暴落と善後策

株式市場は獨逸講和提議の電報到著せる爲め忽ち大暴落を來し市場は大動搖せり郵船株の如きは十二日三百二十五圓を稱へしが十三日には約二百七十圓に暴落し取引所は殺氣滿渡れるより當事者は直に立會を中止し重役會議を開き善後策を講じ來る十六日迄立會を停止することに決せり（東京特電）

## ◎戰時の露國と國民

### 排獨熱は益々旺盛也 河野通久郞氏談

原商會莫斯科支店長として殆ど十九年間同地に居留し貿易業に從事せる河野通久郞氏は今回商用を帶びて歸朝の途次十一日入京したるが十二日午後銀行集會所に銀行會社の主なる人々會合し午餐を共にし同氏の露西亞談を聽きたり氏の談話中公表して差支なき部分のみを摘錄すれば

▲露西亞の戰費 は我々局外者の知る所にあらずと雖も開戰當時にありては一日二千萬留を要し居たるが最近には三千萬留を要し居り少なくも平均二千五六百萬留の戰費を要し居れることは確なり兎に角千九百十四年の八月より開戰以來二十八箇月間に於て二百十億の戰費を支出し居れりとは實に驚嘆すべき次第なり元來露國平時の財政は如何と云ふに其の歲入は三十八億を有したるが今回禁酒命令を發したる爲め九億八千萬圓の歲入（酒稅）を失ふこととなり勢ひ他の方面に收入を求むることとなりて增稅を行ひたるも民心には可忝の影響なきもの丶如し最近三十億の內債利子（五分八厘）を募集したるに排獨的の氣分に滿されたる國民は擧て之に應募しつ丶あるも尙政府は富籤制度を設けて一層勸誘せんとの計畫あることを耳にせり外債は英國より三千萬磅を月賦にて借入れ日本に對する軍需品の支拂には大藏省券を以て充て居れり、貿易額は平素五六億の輸出超過を示し居るものなるが今日にては約十五六億の輸入超過を來したり

▲單獨講和大反對 戰爭に對する國民の覺悟とも謂ふ可きは政體と國體とを異にせる關係上日本の如くにはあらずして戰爭は戰爭、國民は國民と個々別々の感ある樣なれども獨逸を擊破せんとする敵愾心に至りては同一なり町村同盟會又は都市同盟等の如き團體はもと傷病兵の救恤收容を目的としたる團體なりしが近來一種の政治的團體と化りつ丶あるなり殊に近來此三團體が政治的の色彩を頗る鮮明にし來りて盛んに排獨的の戰爭繼續論を主張しつ丶あるは注目に値すべし露國の或一部にありては所謂親獨派なるものもあつて戰爭の永續を嫌惡し單獨講和を希望し居れるものもあれど國民の意嚮にして平和商岸論に一致せるのみならず前記三團體の排獨思想も亦旺盛なるものあれば少なくも今後一年間位は講和の見込なかるべし

▲物價騰貴と民心 戰亂の結果として諸物價は著しく騰貴し五哥のパンが量を半減して價は十哥となり肉三十哥が一留、毛織物が四倍、綿織物が三倍と暴騰し平均平時より五六割暴騰し居れり、併しながら多くの壯丁は戰線に（約一千萬人）立てるため勞働力に非常の不足を來すも勞銀に於て收入平時の三四倍にも達し居れば非戰鬪員にして細民たるも前記の如き物價の騰貴に際會するも何等の苦痛を感じ居らず寧ろ充分に勝を制するまで戰爭の永續を希望し居れるもの多きにあらずやと思へり

## ◎日滿連絡不振

十一月中に於ける日滿聯絡貨物の輸送は前月に引續き東滿線輸送力不足のため內地及び朝鮮よりの發送を制限するの已むを得ざる狀態に在り又東滿線發送のもの皆無にして甚だ不振を極めたり其數量及び重なる品名を列擧すれば左の如し

| 輸送數量 | |
|---|---|
| 內地發 哈爾賓著 | 二一七噸二 |
| 朝鮮發 哈爾賓著 | 四五七、五 |
| 同 チチハル著 | 〇、四 |
| 計 | 六七五、一 |
| 東滿發 內地著 | 〇、三 |
| 合計 | 六七五、四 |

重なる品名

| 品名 | 本月分 | 前年同月比較 |
|---|---|---|
| 鐵道院發東滿著 | | |
| 綿布 | 六二、七 | 減二二一、三 |
| 革及革製品 | 三六、九 | 增三六、九 |
| メリヤス製品 | 三五、〇 | 減三七、九 |
| 綿絲 | 二七、一 | 增一一、八 |
| 鐵製品 | 一四、五 | 增一二、一 |
| 朝鮮發東滿著 | | |
| 米 | 三九九、〇 | 增三三二、一 |
| 生果 | 五一、〇 | 增五一、〇 |

右品種中革及び綿製品は從來と雖も多少日本內地より仕向けられつゝある處なるが近來主として哈爾賓を著驛とする靴の輸送頓に增加し本月の如き約三十七噸を輸出せりと

## ◎臨時列車減少

十一月より鮮鐵にて下の關以東行き連絡貨物の輸送停止を行ひし爲め京釜線の臨時貨物列車は漸減しつゝあり乃ち五日及び六日に於て釜山南大門間三往復釜山大田間一往復なりし臨時列車は十一日に至り京釜間二往復に減じ更に十二日に至り釜山南大門間二往復となれるが積載量に於ても連絡車を除きつゝて減少せり今後貨物の關係上尙ほ列車の減少を見るに至るべきかといふ尙ほ釜山驛にては貨車にして荷卸しの馬なき爲め取り卸し得ざる貨車は百四十輛乃ち約三千噸の多量に達し居れりと

## ◎寺川判事歸鄕

平壤覆審法院判事寺川二藏氏は母堂逝去の急報に接し十二日南大門驛通過歸鄕せり

## ◎安城品評會褒賞授與式

京畿道安城郡にては去る十一日より優良物產品評會を開催中なりしが審査の結果十三日出品者に對して褒狀授與式を擧行し道廳より東田事務官阿部技手出席せり

### 人事消息

▲芳賀榮次郞氏（總督府醫院長）十三日夜入京朝鮮ホテルへ ▲ステーブンス氏▲ヘンリー氏（以上英人）同上 ▲橋本[illegible]氏（滿鐵）同上天眞樓へ ▲[illegible]氏（水原勸業模範場技師）同上浦尾へ ▲大石正之助氏（釜山稅關監視官）▲金久保第四十[illegible]團長▲[illegible] 十四日午前八時三十分發東京へ ▲河[illegible]（鐵道局技師）十三日歸京 ▲富田[illegible] 十三日歸京 ▲工藤[illegible]校長以下一行六十三名 十四日朝鮮[illegible]

## ◎英新內閣と同情

歐洲大戰に對する有害の勝利を得んが爲に新內閣の出現を翹望しつゝある英國民の面前に今遂の第一日は明け初めたりロイド、ジョージ氏が閣員二三十名の多數より成れる行動不自由なる前アスキス內閣に代ふるに少數の軍事內閣を以てし既に貴重なる改革を爲し得たる事は世の遍く認むる所なるが雖氏が前內閣中の統一鐵の分子を又復新內閣に招致したる事に就ては世間多少の不滿なき能はず就中バルフォア氏の如きは從來の功績の甚だ顯著なるものありと雖も此度更に外務の要職に當るべく之に必要なる健康と氣力とを氏は到底永く保持するに堪ざるべしとて他方面にて頗る憂慮されつゝあり新殖料、オーター、ロング氏に對しても亦同樣の批評を下しつゝあり然れども新內閣は優越せる勇氣を以て即時戰爭に關する凡ゆる問題の解決に努力すべく國民は隔意なき同情を以て新內閣を援助し今後も尙引續き求めらるべき犧牲をば回避する事なかるべき兆候の既に歷然たるものあり（倫敦電報）

## 南言北語

獨逸は其の活動の範圍を大西洋上に迄擴張しカナリー島附近では既に出沒自在の跳梁を擅にして居る▲一方巴爾幹では愈々羅國を打ち破つてファルケンハインは大軍を提げてモナスチールを攻擊しやうとして居る▲斯る形勢であるのに何故に獨逸が講和を提議したのかは聊か不審の樣に思ふ人もあらうが決して不審でも何でもない▲獨逸の此講和提議は恐らく獨逸の豫定行動であつて一方から云へば獨逸の作戰計畫が着々成功して行きつゝある證據の樣にも思はれる▲總ての場合に於て敵に對し機先を制して縱橫攻擊に出掛るのは獨逸の奥の手である▲されば[illegible]獨逸が講和の提議をしたのも有利な位置に在るたんこすまの[illegible]である▲之を見た獨逸が[illegible]講和を提議したなど思ふに其[illegible]でもない間違ひ▲[illegible]獨逸が聯合軍の氣を引いて見た位[illegible]に考へて居れば[illegible]▲も一つ[illegible]を脅ふると獨逸が聯合國をチト馬鹿にした意味にもある▲サア何うだそれでも未だ講和せぬかなんて出方[illegible]か小供を脅かす樣なものだ▲[illegible]れが其の樣な事を聞くものか聯合國が獨逸の講和を承知する時は獨逸が進退に窮つた時であらねばならぬ▲マッケンゼンやヒンデンブルグやファルケンハイン等を國外に放逐し獨帝が戰捷の自信を失つた事を自覺した時に限る▲殊に獨逸の提議と云ふのは虫が好すぎる▲波蘭の獨立は承知して貰ひたい▲其他は總て戰前の狀態に復歸させると云へば白耳義は戰前の通りにすると云ふのだらう▲而して巴爾幹問題は講和會議で決めやうと云ふらしい▲之れから見ても勝者が弱者に對する提議の樣で其の裏面には獨逸得意の不遜な態度が閃いて居る

◎受章人名公示

昨年十一月十日大禮の際に[illegible]

◎公民會の運命

[illegible]の結果に據れば右は全く在京國民黨[illegible]軍とは何の聯絡なき理なり[illegible]は國に大法あり卿等は我れ作霖が如[illegible]捕縛せられて模範監獄に投せられたるが如し（元と張本人は六名と云ふ）[illegible]に逃げ返へれり

▲同盟校長督軍を惱ます 公民會の[illegible]たるに意外にも奉城十五學校の各校長は之れを不當として命を用ゐず同[illegible]

[illegible]より十二日午前四時過出火し土幕約一年を燒失したるのみにて鎭火す原[illegible]

赤堀峯吉序 美山廣太郎著 新刊 菊版布製金文字入 定價壹圓送料八錢

實用醬油 家庭醬油 醸造法及鑑定

醸造家及家庭醸造者の福音書 本書は醬油味噌酢等の製法と鑑定法を極めて解り易く家庭必備の寶典なり

發兌 東京神田錦町三の六 振替東京八七八七番 平和出版社

◎文學士寺田精一先生監修 毎月一回發行 一冊十二錢 郵税一錢

一月號 トモダチ

美しい繪と面白いお伽噺が滿載 特別大懸賞あり （大附錄）曲藝すごろく

取次全國書店 東京麴町富士見町 二葉社 振替東京三一六三 電話番町四〇五八番

最新 書翰講義錄

會員大募集

手紙の下手は一生の損 入會せよ 五大特典提供

大日本書翰學會

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり 粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ

京城南大門通三丁目 （堀井）謄寫堂京城出張所 電話四〇二番 振替口座京城一〇五八番

日韓書房 新版報告

川合春充著 強い體を造る法 定價一圓二十錢 送料十六錢

新渡戸稻造著 自警 定價一圓七十錢 送料十六錢

平見著 善心惡心 定價九十錢 送料十錢

泉鏡花著 ゆかり文庫 定價一圓二十錢 送料十二錢

松本留著 新式自習辭典 定價五十錢 送料十錢

京城本町二丁目 電話一五四〇番 振替一五一一番

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり

新義州常盤町 綠屋旅館 電話六四番

親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

…に夫人に對し大正四年…號に依り大禮記念章を授與されし人名は十三日官報附錄を以て公示せらる（東京特電）

…革制運動として擧くも督軍の歎諾ある可きを疑はれたるが段々其相探究…る敵本主義とも觀る可し從つて張督軍排斥なる…立せざる…擧すれば亦た張督軍排斥な…作霖あり若し譬等我れと…大局破壞的の行動を敢てするに於て…にて其主謀者と目す可き四名は已に…と再擧の策を熟議す可く早くも北京…奉したる參議院議員二名は吳景濂等…辨法として學生の政事干與を嚴禁し且つ冬期休暇期を十日程早く繰上げ速に彼等學生を歸鄕せしめんとし

# ●八年振りの德壽宮

## 新總督と李太王殿下の歡談

‖三獻の盃をあげて新任の悦びあり‖
‖佩劍の音雙然たる總督の挨拶‖

昌德宮午餐會に臨まれた長谷川總督は十三日午後二時四十分といふに更に馬車を驅つて德壽宮に向つた、此の日李太王殿下には

◇德壽宮內弘德殿

に於て新總督を迎へられたのであるが主客とも四十一年以來の對面のこととゝて八年ぶりの歡談が試みられたのであつた、弘德殿といふのは日頃李太王殿下が貴賓を迎へられる純朝鮮式の建物で丹壁朱殿の間に丸き朱の大柱をたて後ろの方には燦然たる金屏風を建て連ねたる間に風致ある盆栽なども置かれてあつた——尤も以前に

◇總督が軍司令官

で居られた時には度々德壽宮內の漱玉軒（今の米國領事館の隣りにあり）といふので李太王と對面せられたものであつた——新總督はこんな因緣多き大漢門を約八年ぶりに過ぎ入りつゝ贊事の人の案內にて弘德殿に入られたのであつた、此の時李太王殿下は寛悠とした朝鮮服を召され傍らには國分事務官と三人の賛事を隨へつゝ

◇莞爾として總督

を招じ入れられた、總督はまた元帥陸軍大將の正裝に胸一杯の勳章を佩げつゝ佩劍の音愛然として對面せられ其の背後には高橋總督附武官、齋藤元帥副官、大島副官、神田秘書官がつゞき宛然活畵の如き光景を呈した、かくて李太王殿下にはなつかしげに新總督の手を握つて一別以來まことにお久しぶりである……と許り

◇總督と共に非常

な悦びであつた、次いで殿下は三獻の盃を擧げて長谷川總督の新任を上ろこばれ總督はまた嚴手をして殿下の御健康を祝したのであつた、斯くて藤波通譯官の通譯にて互に廿分ばかりも歡談せられた後總督は再び馬車を驅つて退出せられた、打ち仰ぐ大漢門の空には雪模樣の灰色の雲があつた

# ●講和は成立するか

## ▼獨逸に取つては最好の時期

### 戰後は何うなる‖秋山參事官談

獨逸講和提議の報を齎らして十三日の午後總督府參事官室に秋山參事官を訪ふ、談に曰く

獨逸の講和提議は聯合通信の報道だそうだね、眞假如何は知られねけれどなければ怪しむことも驚くことも無い。何故だつて獨逸は之れまで羅馬法王に泣き付いたり、米國大統領を唆かしたりなどして度々講和問題を持ち出したおやないか、殊に今度はブカレストを陷れ羅馬尼を屠つてゐる時だから獨逸に取つては

◆最好の講和期だ、开して華盛頓電報の對米政策といふのを見ると獨逸は波蘭をして獨立させる件を除き總て戰前の狀態に復歸せしむるを條件として講和した上巴爾幹問題は講和會議で討議すると通告してゐる、之れも獨逸の理想通りで隨分虫の好い條件だよ、此の注文を聯合國が承知するか如何か萬一協商側がへタ張つて仕舞つて其れに應ずる樣な場合があつたら戰後の獨逸は直ちに國力を恢復するのみならず其れこそ大變な勢で以て

◆威張り散らし羅馬帝國の二の舞を演ずることは火を睹るよりも明白だ、戰後の問題は別としても斯樣な條件の下で講和したら八百億からの借金を負うて今日まで戰爭を續けて來た結果は何處で發るか譯も和の提議は實際でも聯合國がオイそれと承知をする道理はない、殊に英國の如きは內閣が交迭してロイドジヨージ氏が首相になつた、今後は一層腰を据ゑて戰爭する決心に相違ない、其の他の協商國だつて戰後が如何なるか位の事はチヤンと知り抜いて居る、其の條件が聯合國に取つて非常に有利なものとなるなら兎に角だが其れでは獨逸側が納まるまい、今度の講和も容易にものにはなるまいと信じるよ

## ▼世界平和の爲めに喜ぶべし

### 圓滿に解決するか‖久水外事課長談

乃ち去つて外事課に久水外事課長を訪へば本社の號外を熟視した後破顏一笑曰く

巴爾幹問題を講和會議で解決しやうといふのは判つてゐるが波蘭を獨立せしむるの件を除きとあるのは

◆一寸聞きかねますね、兎に角此電報が實際であり而して聯合國が承認するとしても愈々講和の成立を見るまでには相當の月日が掛りませう、何れ講和となれば休戰をした上双方から委員を出して談判をすることゝなるに違ひないから少くとも成立までには

◆一箇年以上を費さなくては濟みますまい、然し此條件では聯合國が承認するかせぬかは疑問ですが、相互に現在の體面を傷けぬ樣また其の位置を落さぬ樣な條件で以て圓滿に講和が成立するとしたなら世界平和の爲めには洵に幸福なことで之れに越した喜びはありません

忠義徹心肝　大山公書

# ●繼子を溜池に投げ込む

忠南扶餘郡草村面山直里李鍾元妻金氏（三）は二年前連子と共に鍾元に嫁したるが連子は宋氏（六）と言ひ前夫との間に生れたる啞者の娘なるを以て常に金氏は厄介視しゐたるに個十二月三日金氏が徐て二十個許りの柿を塹の中に仕舞ひ置きたるものが僅か四個のみ殘り居るを發見し宋氏が悉く食したるものと誤認して大に憤り同日夕刻宋氏を同里前の溜池に投入して溺死せしめたることを扶餘憲兵分隊にて探知し金氏は十二月七日逮捕されたり

# ●圖々しい曲者

▽洞長其他より金品
▽を詐取して逃亡

黃海道金州郡口耳面冠円洞々長申楔方に十一月十七日夕刻自稱京城北…は佛堂より燭臺一個（十圓）を詐取し其他西大門驛構內、京城稅關出張所門前等にて衣類、靴等合計百餘圓の金品を盜み十一月二十八日夜龍山彌生遊廓一力樓にて豪遊中を龍山分隊の持務に取押へられ目下同隊にて取調中

# ●蹴起して脅迫

住所不定無職權和同（三）は去る九日午前一時過ぎ全北全州郡伊東面伊川里尹明七方の表垣を乘り越へ室內に忍び入り尹七の就寢し居るを蹴起し金品を强奪せんと企て種々尹を脅迫したる折柄夜警團員の爲め直に捕へられ全州署に引致嚴重取調べの上身柄は一件書類と共に檢事局に送らる

# 大山元帥

## ▼至誠一貫の人

‖波多野宮相談‖

大山公に敬服する處は至誠一貫名利に恬淡な事である曾て內大臣に推薦された時にも公は自分は鐵砲を擔いで戰ひをしたとはあるが政治も知らなければ世の中の事も何にも知らん、だから御免を蒙りたいと言つたものだ此れが公の名聞利慾に淡い所であつて而も公は茫洋として何も分らぬ樣だが却々さうではなく政治上の筋合でも其の他の事でも能く呑み込んで居られるこれは公の時々發する警句の能くその肯綮に當つて居る點で以て察することが出來る

## ▼『諾し』の一言

‖松川衛戍總督談‖

日露戰爭の時には私も滿洲軍總司令部附參謀として大山元帥の下に從軍したがあの當時は元帥も餘程心配して居られたやうである、旅順の陷落が捗らず奉天大會戰の前後には最も頭を痛めたが元帥は常に泰然自若悠容迫らず少しも外部には心配の色を現はさなかつた何事も知られぬ風に見ゐても元帥は凡ての事をチヤンと知つて居て戰況の利不利は勿論の事此戰ひは何うなるかも皆な知つて居られた、吾々末輩に至るまで參謀の言ふ事は能く聽かれ最後に『諾し！』と決斷を與へる、元帥の『諾し！』の一語は實に萬鈞の重味があつて如何なる事があつても變更される樣な事はないので大將として推戴して居る者は誠に心強い感じがする（東京）

# ●出獄して數箇所を荒す

奈良縣添上郡治道村生れ住所不定の福井壽平（三）は窃盜罪に依り前後三回永登浦分監に服役し本年十月十三日滿期出獄したるのみなるに十一月九日午後八時頃龍山榮町龜澤某方に忍び入り柳行李の中より衣類數點を窃取したるを手始めに十一月二十七日迄に京城旭町二丁目辰巳屋にては客人の現金外套、大和町開教院にて…

…部親洞居住總督府山林課勤務任棠永（三〇）といふ者が去十一月二十日山林課の內地人技手二名が測量夫數名と共に來洞するに就き宿舍用意の爲め一行より先に來りたるものなりと云ひ同夜同人方に一泊して酒食の饗應を受け翌朝出發に際し件の男は所持の懷中時計外一點（價四圓位）のものを提供して金入圓を借用名義にて騙取し尙同洞の申聖立外一名に對し山地拂下げを受けたければ自分の實兄が山林課の技手を勤め居れば直ちに許可さるゝ樣運動してやるべしと欺き其の手數料及び印紙代名義に合計十八圓を詐取したる上郡廳に行くと稱して立出でたる儘逃亡せり

# ●各消防組點檢

新舊龍山、桃花洞、麻浦の各消防組は十二月十六日龍山元町小學校庭に參集し矢野龍山分隊長より器具の點檢及び年末警戒に關する訓示あるべしと

# ●電車の故障

十三日午前七時二十分頃京城電氣會社の五十三號電車が龍山より京城へ向け進行中吉野町停留場附近にて車臺の心棒を挫折したるも應急修理の上同三十分進行せり

# ●興味ある春場所（一）

## 互角の兩軍の成績は何うなる

滿天下の好角家を熱狂せしむべき東京大相撲春場所は來年は五日番附發表の十二日初日といふ近年にない早さだが、相撲社會に有勝な例の下らない紛擾に無駄な時日を費さぬ限り華かな

▽新春の氣分 のまだ消せぬ時において、江東の天地に勇武の太鼓の鳴り響くのを聞く事が出來るだらう天下無敵の太刀山を誰が倒すかといふ問題が昨年までの興味ある問題であつたがそれが栃木によつて解決されたゝめに今年の興味の中心となるべきは東西入替へによつて久しく控ね馴れた東部屋を

▽敵に渡した 舊東方が激勵發奮、首尾よく例の優勝旗と共に東方たるの榮譽を取り返へすか何うかである、新西方には秋霜烈日の如き出羽の海の嚴しい監督があり、井筒部屋の西の海の威壓、あの稽古嫌ひの男にして巡業中特に稽古を勵みたるが如き皆に新に勵ち得たる自己の

▽横綱の榮位 を辱しめざらむとする意思の外に前場所に於ける味方敗北の恥辱を雪がんとするの決心ある事は言ふを俟たぬ所で出羽の海部屋力士たる大錦、對馬洋、栃木山、綾川、兩國、九州山、小常陸の如き奇骨稜々たる連中が

▽眦を決さる 害が無い更に亦新東方と雖も大剛太刀を筆頭に鳳、朝潮、長へたりと雖も伊勢濱等の大將株宛を揃へて風を望み、玉手、大戸、大蛇、浦の濱の副將、大鳴門、眞砂石、石山、黑瀨川等の鬪士腕を叩いて之れを邀へ擊たんとする時に於いて

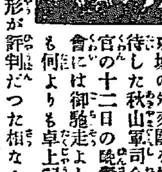
▽新入幕の荒 武者千葉ケ崎、琴ケ浦が風を切つて馳せ參ずるあつて五六場所前西方時代の寂寥寞々たりしとは全く趣を變へて賓に多士濟々故を啣んで殺到し來る西軍に當るべく、十分であつて好角家の興味は即ち玆に湧くのだ而して唯

▽兩軍の陣形 より察して春場所の勢力は何れにあるかを考へるのは少しく輕卒の嫌ひが無いではないが各々相撲知識によつて今から豫想して見るのも一興では無からうか、次號には已に編成終つて根岸家の金庫に納められてあるといふ新番附の豫想と共に前記の問題を想像して見やうと思ふ（つゞく）

△大演習實寫 黃金館にては十二日より新富座と差替へたるが…水式實況、九州地方に於て行はれたる陸軍秋季特別大演習實況を映寫すべくその他の寫眞は…

△浪花館 吉川今勝の浪花節にて興行中なるが年末名殘りとして入場料を十錢に引下居れり

贈答品には ちゝぬ銘仙 京城本町 ちゝぬや




京城の外交團を招待した秋山軍司令官の十二日の晩餐會には御馳走よりも何よりも卓上記念品の博多人形が評判だつた相な▲尤も人形は高さ三寸許りの當世美人で將軍がワザ〳〵九州大演習から提げて歸る途中では度々方々で浮名を立てられたものだ相な▲そこで將軍の挨拶には『皆さんに私の箱入娘を差上げる』とばかり一生一代の洒落が出た相な▲猶ほ將軍が席上佛蘭西語で挨拶したとは頗る異樣に聞ゐるが大將はあの髭カラにも似ず佛語が上手で手刺の裏にも佛文で記して居る位ゐ▲聞けば靑年時代に佛蘭西に留學したことがあるのだ相な▲李王家招待の昌德宮午餐會では卓上の草花が美しく珍らしいものばかりであつた▲その中花の香りが香水のやうな蘭科植物の一つは長谷川總督が所望されたとかのはなしであつた


たんをきりせきをしづめ　龍角散　ぜんそくに特効あり

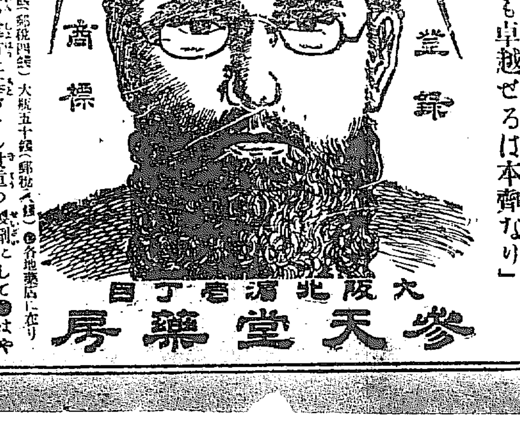
今です！
たんせきぜんそくの流行期は。凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です！！この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが夫がたんせきとなりぜんそくとなると決して
油斷は大敵
油斷はなりません、わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に變症し易いから輕症の內に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が
最も肝要です
數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分は爽快となり病惱は日々に薄らぎ終に治癒するに至る
登錄商標

主治効能
△たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
△ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
△せき頻に出で夜半オチオチ眠れぬ人
△流行感冒より起るたんせきの人
△肺病にて常に力なきせきの出る人
△たん臭氣を帶び時々血の交る人
△小兒百日せき又はしかせきの人
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに顯る卓効あり又常々音聲を使用する人用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

| | | |
|---|---|---|
| 二日分 | 十錢 | 郵送料二錢 |
| 四日分 | 二十錢 | 二錢 |
| 一週間分 | 三十錢 | 二錢 |
| 二週間分 | 五十錢 | 二錢 |
| 一ケ月分 | 一圓 | 四錢 |

取次 全國各藥店にあり 賣切の節は本舖へ御注文を乞ふ代金引替は御斷り郵券代用不苦
本舖 東京神田區豊島町 藥劑師 藤井得三郎 電話浪花一四二四 振替貯金東京九一





商標 登錄
大學目藥（めぐすり）
◎定價 金十錢廿錢（郵税二錢）三十錢（郵税四錢）大瓶五十錢（郵税八錢）◎各地藥店に在り
大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基づきし貴重の製劑にして◎はやり目◎星目◎トラホーム◎のぼせ目◎疲目其の外眼病一切に驚くべき効能あり▲十歲以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
大阪北濱壱丁目 參天堂藥房
「內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」

お歲暮には實用向の御進物は
砂糖 ◎樽詰◎ 箱詰◎ ◎上袋入◎砂糖切手◎
例年の通り賣出し仕候多少共御用命奉希上候
砂糖、諸粉 製菓原料 京城本町一丁目 澁谷商店 電話七百七十一番 振替京城四二九番

タンセキ改良劑 呼吸器散
秋冬最新の高貴藥を配合せるを以て其效驗著大なり。別に丸劑とせる呼吸器丸あり
急性慢性のたん、せき、症にタンを拔りセキを鎭め夜を和らげ安眠の効を奏す!!
貳十錢 四十錢 本舖 大阪東京 丹平商會

內地塊炭 撫順塊炭 無煙煉炭 商 京城西小門通 西崎商會 電話七二七番



醫術開業
小生儀專修後小兒科內科專門にて久留米市に開業致居候處今回小兒科學會及內科講習の爲め上京中引續き皮膚科研究仕舊友の勸めにより南山町三丁目京城ホテル前に開院仕專ら患者の診療に從事致候間此段謹告仕候也
入院隨意 原 森俊（盛雄改）
京城府南山町三丁目京城ホテル前
◎小兒科內科皮膚科
開業御披露の爲 診察無料
原醫院 長電話二一六四三番

今回原森俊君京城府南山町三丁目に於て小兒科內科皮膚科開業仕候に付何卒各位の御引立被下度候也
久留米市醫師研究會總代 久留米市病院長 醫學士 石田光次


●土穴から出火 京城鍾路五丁目裏堤防の土穴居住乞食趙貴男方…

…低氣壓示度七百六十四粍▲進行方向東北東▲記事北西風强降雪あるべし▲警戒區域全部の沿岸及內陸

# 怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

## 二十一　一間一髪（五の一）

まだ木枯と名の付くほどでもないが、日の落ちる少し前から、思ひ出したやうに吹き出した風は、變に冷たくて、加之に心細い迂鴨を巻の電線に傳へた。今日に張り代へやう明日こそはと、思ひながらもつい手を下しかねて居た古障子の破れ目から、すう／＼と吹き込んで來るそれが、恰度幸三郎の寢て居る枕頭とは一二尺ほか離れて居ぬので、只さへも細い薄の小夜著の襟元から一直線に刺すやうに浸み込むのであつた。電氣は今の前先を逆つて來たのであるが、庭もまだ幾分か黄昏の薄明りを殘して居るので、夜とも晝とも差別の付かぬ陰氣さが、六疊の室一杯に這ひ回つて居た。何時の書き損じか、粹張の儘の尺五に蝦蟇仙人の半身像が、怖い目を睜つて、低い煤つた天井に魔のやうな息を吹きかけて居るのが更に特別の物凄さであつた。

『阿母さんは、藥を何處まで買ひに行つたんだらう。』

ぴん／＼と痛む頭を、堅手と兩手で抑へ付けるやうに爲ながら、苦しさうに起き上つた幸三郎は、元氣ない眼に、我が書き損じの粹張の畫を睨み詰めたが、物の十分とも經たぬ内に、又畫の如く夜具を引被つて寢て了つたのである。

『おい、倉橋君……辭雪君。』

無遠慮な聲で、門口から我鳴りながら、つか／＼と上り込んで來たのは、例の中學教師村山一雄であつた。一雄は、今日は食後の散歩がてらと云ふ調子で、無格好な絣の袷に、同じやうな羽織を著て居る。その兵兒帶の色など、來ては、確かに衛生係から苦情の出さうな品物。

『君、風邪引で寢込んで了つたんだつてね。什うです、その後の經過は……？』

言ひながら、一雄はずつかり幸三郎の枕頭に胡座を極め込む。

『誰かと思つたら、村山君でしたか』

と、幸三郎は、再び太儀さうに起きかけたが『なに大した事は無いけれども、頭の中が時々割れるやうに痛んで來るんです。』

『そりや不可ね。文展落選の失望と、絹代さん問題の破綻で、精神過勞の結果に違ひないんだ。氣候がわるいから氣を付けんと大事になるよ。實はね、今神樂坂の上で、御母堂にお目に懸つて、初めて君の病氣と云ふ事を承はつた譯なんだが、君、そんなこつちや却々朝鮮支那の漫遊どころぢやないぢやないか。』

『とても／＼。殘念ながら、朝鮮支那は措措き、横濱までも難かしいですよ。然しね、村山君、命に別狀はなさゝうだから、心配して呉れ給ふな。』

『はツ、杜、賤、は、それ位の事で命に別狀があつて堪り挙があるもんかね。時にね。倉橋君……』と、一雄は稍聲を低めて、幸三郎の方へ猫脊のやうな格好を爲ながら『君、原町の一件だがね、彼の面白富の老爺の言つた通り、絹代さんなる者は、正に判然と明斷に、花泉男爵邸に住み込んで居る事丈は突き止めたんだが何分にも彼方は彼の通りの御大家だし、此方は下手を爲ると、ボロ壯士と間違へられさうな輩なんだから、到底本人に面會なんか申込む譯にはゆかないんだ。乃で、僕は一策を案じて、男爵邸へお出入の牛乳屋に囑んで、それとなく絹代さんの消息を聞いて見たね、君、憤慨しちや不可よ。病氣の處を憤慨なんか爲ると尙更好くないから、豫じめ注意しとくんだがね……先づ絹代さんの事は、男らしく奇麗サッパリと、心の根底から斷念す可しだね。』

『そりや、村山君、君から忠告される迄もなく、公然はもう疾から斷念しとるんです。』

『いや、公然や形式上の斷念でなく衷心から斷念し給へと僕は言ふんだ』

『それ丈の理由さへ明かに分つとるなら、そりや他ならぬ君の御忠告ですもの。』

『その理由かね君、辞いやうだが、憤慨せずに聞き給へよ。最初の事情は無論知らんけれども、今日では最早絹代なる者の精神と云ひ肉體も共に全然虚榮と云ふ黴菌に喰ひ込まれて了つて、君なんかの事は、油の盡きかゝつた瓦燈の灯影ほどにも念頭には殘つて居ないらしいんだから、君、斷乎として斷念するのが、君の將來の幸福と云ふもんだよ。』

斯う言つて、一雄は烈しく手を振つて見せたのである。


上京眼科研究中の處
昨夜歸院從前の通り
診療に從事仕り候
大正五年十二月十二日
京城本町四丁目
金井眼科醫院
院主 金井豊七
電話一五五六番



移轉診療
京城南大門驛横二見旅館内にて診療中の處患者各位の御便利上
長谷川町
安東病院外科室に
十二月一日より移轉從前の通り診療に從事仕候
肛門病 花柳病 注射 專門醫院


□霙の芽會（平安北道龍岩浦（啼好報））

鍛冶に日記締めて年暮れぬ　創牛
婚禮の日取極めけり年の暮　同
下戸の酒買ふ夜あり年の暮　三
年の瀬や杵の音低し父老ひぬ　柏
年の瀬や畜奔賣る家に人稀に　同
年の暮渡鮮十年なる見ず　盤
年の暮人になせ日記帳　同
逝く年や鶴舌の君只黙す　瑞
年の暮廢墟の町や道廣し　同
逝く年や開鎮の人に押しあり　木
年暮れて豚汁に鮑く友の宿　同

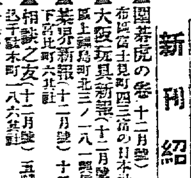
實刀の朝露ひけり年の暮　峯月
病む夫に叱られにけり年の暮　同

結氷

水鳥の立ちしあしたや結氷す　創牛
結氷や旅人行く如に消少し　同
結氷を内地の母へ知らせけり　同
結氷や讀むもの絵ふ灯の猛き　柏
結氷に小鹿もあり雁の群　同
氷上に漁火淡く月冴ゆる　木
結氷や北風に胡馬嘶きつ　同
結氷や咲きそして月冴ゆる　同
結氷や枯木の鵲鳴きにけり　公
結氷や港海に孤獨の舟　同
日も暮善口結氷に古き友あり　盤
結氷や馬賊の群に太き茶　同
氷結ぶ館の戸の兵さき哉　瑞
結ぶ郭の戸結氷の町灯暗し　同
すすれ行く結氷の音かすか　同
結氷や湖の渚の　好

### 新刊紹介

▲園藝界の巻（十二月號）二十錢東京市麻布區宮士見町四三番の日本社
▲大阪玩具新報（十二月號）十錢大阪市北區上福島町北三ノ一八一號信舍
▲藥界新報（十二月號）十二錢東京市牛込區下宮比町六共社
▲相談之友（十二月號）五錢東京市本郷區駒込千駄木町一八六共社
▲今様（十二月號）價不詳東京市神田區雉子町三好吾姉堂
▲朝鮮之園藝（十二月號）日鮮兩文にて編輯し主として朝鮮農家の有利なる園藝に關する記事を收めたれば農家は本誌に依つて得る所鮮からざるべし（十五錢京城黄金町二ノ一七共社）
▲西洋畵報（十二月號）口繪には知例歐米の流行、俳優、婦人等あり記事には天女の水浴、炎の外に戀する女、獨人の觀たる日米問題等を載す（三十五錢東京市麴町區富士見町ノ一共社）
▲土木建築工學（十二月號）引續き請負の研究民法上に於ける土木建築三角測量の一例等の外隧道の設計に就て其他を收む（二十五錢東京市日本橋區本石町一ノ一工學社）
▲臺灣教育（十二月號）引續き渡滿に就て國定敎科書に關はれたる教師敎材の取扱の外公學校の週り方臺灣總督府民政部學務部内（臺灣教育會）
▲青年（十二月號）日本は何故に貧乏なりや（志賀重昂）日露の親和に就いて（水野錬太郎）及び中央講壇（石田三成論等（二十一錢東京市芝區三田豊岡町一七猶興社）
▲樂人（猶太夫號）引續き新作（實録先代萩）丹波與作の註釋、新口村等を掲載し病來人義番附の作製法其他淺太夫各種の記事を收む（二十二錢東京市京橋區銀座二の一三淺庭演藝研究會）




▲某寺で某留學生の講演がある。との事で聽きに行つた御室は僕と同じ思ひの人々で一パイであつたが何時になつても某留學生の姿が見はれぬので催促をしたら不快で休んでるとの事、では始からそれを斷はつて置けばいゝに囮を使つたと云はれても仕方はあるまい（參詣者）▲十二月も押詰まるに連れて何店でも忙しいには異ひ無いが本町には二三枚の注文は面倒だと思つて相手に仕無い洗張屋がある（新來生）▲昨今京城郵便局の窓口の應對振の良い事は同感だが電話の交換も大いに之を學んで貰ひ度い（電流生）▲文壇の奇才夏目漱石氏は逝いたが氏の權威ある著作は吾人の爲めに遺土産として遺された富豪モルガンは死せるも吾人は鐚一文の餘恵にも預らなかつた文章の光りは太陽の光のそれの如くである黄金の光は蠟燭の如く其光身邊數尺を出でぬ漱石先生は偉である（大悟生）▲二三日前南大門通を頗るキザな男が通つてたら犬に吠へられて避けた拍子に街路樹に突當つたのは飛んだ滑稽だつた（自轉車小僧）


子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふを無く眞に能く効く神痛湯を

即刻試みよ現に……
◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頗る難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみし人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸をあきらめし人
などが此良藥神痛湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀（一般の閲覧に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神痛湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛●彼處此處と移動し●何となく怠く●腹張差込●腹なり胸つかゑ●溜飲●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●齒痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●氣鬱●癇高ぶり●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等
疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神痛湯を試みよ

藥價 半週卅五錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

本舗 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎 電話四千百二十七番 振替口座 東京一三四三番 大阪二三九五番



寫眞　寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御廉價に可應候 京城日報社 寫眞製版部

京日案内
普通 一回前金一番外一回前金一毎行一錢 三十錢（一番外六十錢）五錢増 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せす

▼進物用の萬年ペン取揃ひ有ます 京城本町電二五二七ウツボヤ書店 879
◎低利商人官吏へ金融秘密厳守 旭町二丁目六番地東京旅館裏 江崎 904
◎寫眞門生入用 十三歳より十七歳迄 新龍山 山崎寫眞館 電話六一六番 602
電話讓渡たし 三聲にて呼ヨキモノ 姓名在社 899
◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番 ▲御報參上 ▲本町四 ▲曾肆 辞書堂 896
古本なら野村 明治町筋電二六三 野村書店 買入哉價御報參上 827
◎金細工職人數名大至急入用 京城本町二丁目 電話長二二四九 金銀屋 888
譲店 有望地飲食店道具附安價にて至急讓渡し度し希望者來談を乞ふ 新龍山漢江通郵便局横手 梅一 891
▼柳行李と信玄袋は 本町二驛商岩田商店へ 電五九四 878
◎譲店 雜貨店にして資藥化粧品小間物其他日用前途多望の老舗也 品の有利と共に 的特獨 姓名在社 887

番外
天下一品 駿河屋製 伏見羊羹 特約販賣 ○鳴居堂製香類著 京城本町二丁目 茶及茶器 清心堂 振替三五一八 電話二〇〇五番 903
門松鉀賣 拂下山林にして最適當のもの特別廉價にて御相談に可應候 京城南大門通農藝具商 三輪商會 電話三八六番 900
京城春川間毎日午前八時卅分出發 京城南大門通一丁目 廣橋自働車組 貸切片道四圓 電話二一九番 主務 金正淵 859
銃砲火藥自轉車 京城◎太田◎公州 瀧川銃砲店 854
恩給年金即時現金立替 短期無保險並に勸業時藝債券買入 京城永樂町二丁目（金光教北手）國江商會 830
恩給年金長期即金立替 短期無保險及無手數 商品陳列館表門前 ▲京城永樂町一 江州屋本店 848
恩給年金立替 即時取引退隱料一切 利子年一割 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 852
質屋開業 京城西大門驛前 森質店 863
恩給年金即時立替 京城本町二の五三 銀行横へ入 吉田屋 882
△獵期と魔法瓶 魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 884
毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電二〇六五 元商行 885

中古ピアノ バヨリン オルガン 買升 鐵金も買取升 大和町一の三 電話五 取次六七七 杉野樂器店 886
圍碁教授 二段 林秀石 旭町三入口 895
京城春川間乗合自働車 貸金片道四圓 京城發前八時 ◎春川發前八時 ◎京城水標橋通り 支配人 春川自働車商會 松田壽男 電話武壹參八番 897

◎返信券添へ照會あれ詳細回答す
百円進呈 りん病 ばいどく 藥合 請特許 専賣 大阪東區二味本町 トラッグ 商會
九州帝國醫科大學、病院等に於て當掛配劑せられ淋病梅毒主藥は治療確實なる事を保證し東京京都學上最有効こ確定し學用配劑とし用ゆる高貴藥なる可く證言に進へる若し前述の毒を發見せらるゝ時は分析料として金百圓呈進 ◎あらゆる治療を試するも効なき患者兎に角一度相談あれ
京城 にせ物に注意、商會の隆盛を羨み東京大連青島其他到る處僞物を賣る奸商あり 商會製劑を御購求の諸君は 大阪有田 取可被下候 ◎振替京城四六七番電話長二五六七
南大門外 大阪 グッドラッ商會
京城 他藥店ニ販賣ヲ許サズ

金泉醴泉間自動車發着時間 ▲金泉醴泉間自動車支部 金泉電話四八番
大邱浦項間自動車發着時間 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話二一七番

阿波共同汽船仁川出帆
（芝罘、大連行）第一共同丸 十二月十七日入港 十二月十九日正午出港
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○立神丸 月 日後五時出帆
○小倉丸 月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○立神丸 月 日後十時出帆
○小倉丸 月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
本船取扱店 釜山港立新町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 十二月廿六日 ○京畿丸 十二月十六日 ○黄海丸 十二月廿一日 ○成鏡丸 十二月卅一日 釜山發
○穩城丸 十二月十三日 ○昌平丸 十二月廿一日 ○鏡城丸 十二月十七日 元山發
○第二錦旗丸 十二月 ○忠清丸 十二月廿一日 ○平壤丸 十二月二十日 元山發
○會德丸 十二月十六日 釜山發
○江陵丸 每日 ○襄陽丸 每日 釜山發 浦項發
○三浦丸 十二月十七日 釜山發
○濟州丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
○順天丸 三日目每ニ 木浦發
○慶興丸 十二月十六日 木浦發
○慶興丸 十二月廿二日 木浦發
○公州丸 十二月十九日 木浦發
○宗信丸 十二月十五日 仁川發
○江原丸 十二月二十日 仁川發
○麗水丸 十二月廿一日 ○晉州丸 十二月十八日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
本社 京城南大門 電話長一九五一番 釜山代理店 京城荷客取次店 松原運送店

日本郵船仁川出帆
○三河丸 大連行、秦皇島行 六年一月一日正午出帆
○相模丸 大連、青島行 十二月廿一日正午出帆
○高砂丸 大連、青島行 十二月廿一日正午出帆
○芝罘、大連、青島行 江原丸 十二月十八日前十時出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 十二月廿二日後四時出帆
○秀吉丸 十二月 日後四時出帆
○君が代丸 十二月二十日後四時出帆
○神代丸 十二月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路線を除く時は五分りん以て差續ゐ
○群山、木浦、釜山、馬山、神阪行 大智丸 十二月廿二日
○安東丸 十二月十七日後五時出
○安州丸 十二月十九日
○木浦、釜山、鎮南浦、長崎行 信濃川丸 十二月十四日正午出帆
○群山、釜山、鎮南浦、長崎行 信濃川丸 十二月卅一日後二時出
○濟州丸 十二月十八日後二時出
木浦、鎮南浦、大阪行 天智丸 十二月廿七日
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 十二月十三日正午出帆
○信濃川丸 十二月十四日後二時出
鎮南浦、神戸、大阪行 須磨丸 十二月廿二日正午出帆
○薩摩丸 十二月十四日正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆） 印城丸 十二月廿五日後二時出帆
○安平丸 十二月卅一日後三時出
○宮島丸 十二月卅一日
上海、芝罘、天津行（大連出帆） 湖北丸 十二月十五日午前六時出
○基隆、打狗行 十二月 日午後四時出
御注意 ◉朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道との聯絡切符 ◎印は一時寄港に付御承知を乞ふ
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店


商況

大阪銅米（十三日）

▲保合底强し ▲後場の手振 ▲能く賣る ▲暴落の原因

七期朝米